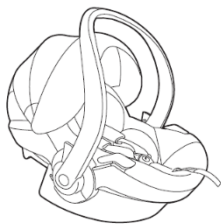


BABYZENTM
YOYO



YOYO チャイルドシート
by ビーセーフ

取扱説明書

もくじ

最初にご確認ください	4
すべてのものが揃っているか確認してください	4
取扱説明書ホルダー	5
チャイルドシートについて	5
ユーザー登録のお願い	5
マグネットの使用	5
本製品の適合する基準について	6
本製品について	6
使用可能なお子さまの条件	6
表記の説明	7
警告・注意の表記	7
強調表記	7
その他の表記	7
イラストについて	7
使用上の注意	8
各部の名称	14
本製品の各部の名称	14
自動車の座席部位の名称	15
自動車の座席および部品に関しての了承事項	15
緊急時の操作	16
SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) の使いかた	16
基本的な使いかた	19
バックルの使いかた	19
キャノピーの使いかた	21
キャリアハンドルの使いかた	22
ニューボーンハガーの使いかた	24
ハーネスの高さ調節	27
ハーネスのしめかた、ゆるめかた	30
しめかた	30
ゆるめかた	31
お子さまの乗せかた	32
チャイルドシートとして使用する	35
ISOFIX での使用	35
取り付けかた	35

取り外しかた	39
3点式シートベルトでの使用	40
取り付け可能な座席の位置と向き	42
シートベルトの種類の確認	43
取り付けかた	44
取り外しかた	51
ベビーカーのシートとして使用する	51
取り付けかた	51
取り外しかた	54
リクライニングクレイドル・ベビーキャリーとして使用する	55
お手入れのしかた	58
ニューボーンハガー	58
ヘッドレスト・ハーネスパッド	59
シートカバー	61
お手入れの方法	65
保管のしかた	68
二次使用について	68
廃棄のしかた	68

BABYZEN™ YOYO チャイルドシート byビーセーフ をお買い上げいただき誠にありがとうございます

本製品は、チャイルドシート、ベビーキャリー、リクライニングクレイドル（ロッキングチェア）、弊社の指定するベビーカーに取り付けて使用するシート、として便利にお使いいただくことができます。

本製品は、厳格な欧州基準に適合するベビー用品ですが、使用方法を誤ると、お子さまばかりでなく、周囲の方や、自動車の他の乗員、保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

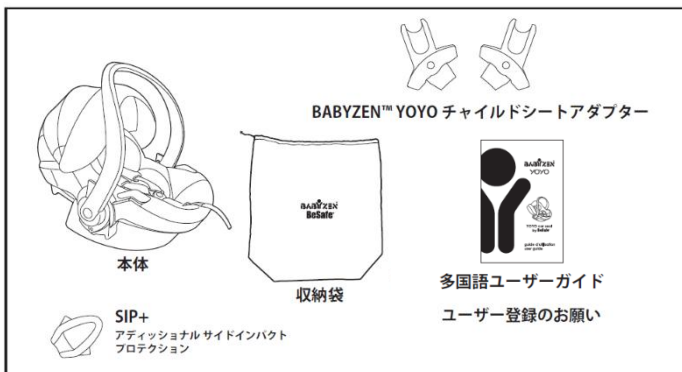
本製品を安全にご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに保管し、必要なときには、いつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

最初にご確認ください

すべてのものが揃っているか確認してください

本製品のパッケージには、下図のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることをご確認ください。

万が一、同梱されていないものがある場合、そのまま本製品を使用せず、大変お手数で申し訳ございませんが、本取扱説明書の巻末に記載されている弊社カスタマーサービスまで、お問い合わせください。



警告

お子さまがかぶり、窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類、緩衝材（キャリーハンドル部とシェルに挟まれています）は、開梱後は直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

お子さまを専用収納袋で遊ばせないでください。本製品を収納しない場合はお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

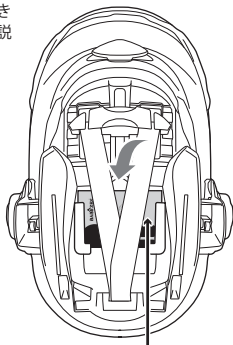
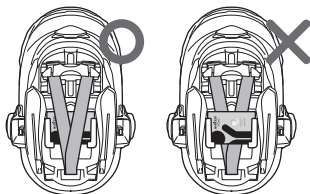
本製品の開梱、組み立て作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

取扱説明書ホルダー

取扱説明書ホルダーは、本製品の底面にあります。必要などきいつでも取り出して参照できるように、取扱説明書は、取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

⚠危険

ハーネスが正しく機能せず、お子さまが本製品から落下するおそれがありますので取扱説明書をハーネスに重ねないでください。取扱説明書はハーネスの下側になるようにしてください。



取扱説明書ホルダー

チャイルドシートについて

本製品は、チャイルドシートとしてお使いいただくことができます。

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、ハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを無傷で守る事を保証する製品ではありません。

チャイルドシートとしてご使用いただく場合、取付方法や使用方法を誤ると、お子さまばかりでなく、他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。安全のため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

たとえどれだけ短い距離、時間であろうとも、チャイルドシートを正しく使用し、常に安全な運転を心掛けるようにしてください。

ユーザー登録のお願い

本製品をご使用いただくにあたって、国土交通省の推奨するユーザー登録へのご協力をお願いいたします。

本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準に適合しており、厳格な品質管理のもと、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万一、基準を満たさない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし、適切に対応できるように、お客様にはユーザー登録をお願いいたします。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が厳重に管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には使用いたしません。

マグネットの使用

本製品のハーネスパッドには、マグネット（磁石）が使用されています。ペースメーカーを含む電子機器に影響を与える可能性があります。

本製品の適合する基準について

本製品は、UN (ECE) R129の基準に適合するチャイルドシートです。

本製品は3点式シートベルトで自動車の座席に取り付けて使用する、または、本製品が対応するBABYZEN™ YOYOチャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースを自動車の座席に取り付け、これに本製品を固定して使用することができます。

BABYZEN™ YOYOチャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースに固定して使用する場合は、本製品は、「i-Size」(インテグラル・ユニバーサル ISOFIX チャイルドレストレイントシステム)に対応しており、原則として自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応すると指示されている座席に取り付けて使用することができます。

ただし、自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合がありますので、自動車のメーカーのWebサイトを参照するか、自動車をお買い求めになったディーラーにてご確認ください。

弊社の車種適合表において、取り付け不可、と指定されている自動車や座席には取り付けして使用しないでください。車種適合表は弊社ホームページにてご確認ください。

<https://www.stokke.com>

本製品について

本製品は、自動車のECE R16またはそれに準ずる基準に適合した3点式シートベルトにより自動車の座席に固定して使用することができます。

またはBABYZEN™ YOYOチャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースに本製品を取り付けて使用します。弊社が明確に指定しない限り、これ以外のベースには取り付けして使用できません。

本製品は、UN (ECE) R129基準に適合する製品ですが、その使用方法を誤ると、お子さまばかりでなく、他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。安全のため、あらかじめ本取扱説明書および弊社指定ベースの取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上でご使用ください。

たとえどれだけ短い距離、時間であろうとも、チャイルドシートを正しく使用し、常に安全な運転を心掛けるようにしてください。

⚠危険

他社製品のみならず、弊社取り扱いのベースにおいても本製品に対応するとは限りません。必ず本製品への対応可否をご確認ください。

使用可能なお子さまの条件

使用可能なお子さまの条件は、本製品が適合するUN (ECE) R129基準において定められています。本製品は以下のすべての条件に当てはまるお子さまに使用することができます。

身長：40cm から 75cm まで

体重：13kg まで

※参考月齢：生後12か月頃まで

⚠危険

身長、体重の条件をすべて満たした場合のみ使用可能です。いずれかでも、これに満たない、またはこれを超えた場合は本製品の使用を中止してください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品をご使用いただくにあたり、特にご留意いただきたい事柄に関して、その事柄が与える影響の度合いに応じて「危険」「警告」「注意」に区分して、強調、表記しています。

警告・注意の表記

危険

この表記に付随して記載されている事柄に関し取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。



警告

この表記に付随して記載されている事柄に関し取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されます。

注意

この表記に付随して記載されている事柄に関し取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される状態を示します。

強調表記

	この表記に付随して説明されている内容 正しい状態にあることを示します
	この表記に付随して説明されている内容 誤った状態にあることを示します

その他の表記

ポイント

「ポイント」と記載されている枠内に記載されている内容は、本製品を実際にご使用いただくにあたって知っておいていただきたい大切な事柄と、より便利に本製品をご使用いただくための情報が記載されています。

イラストについて

本取扱説明書で使用されているイラストは、わかりやすくするため、特定の部位を強調したり、大きさの比率を変更したりしており、現物や実際の状態とは異なる場合があります。また、製品の品質改善に伴う仕様の変更等により、若干の形状等の変更が行われている場合があります。

使用上の注意

ここでは、本製品をご使用いただくにあたり、守っていただく必要のある重要な事柄や、禁止されている使用方法、行為などについて、その影響の度合いによって区分して記載しております。本製品は、日常の育児において一連の流れでご使用いただくことができる大変便利な製品ですが使用上の注意を誤るとお子さまや周囲に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

▲危険

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。

本書の指示に従い正しく使用すること

本製品を取り付ける前に、本書をよくお読みください。使用方法を間違えると、お子さまに危険がおよぶおそれがあります。

フロントエアバッグを装備している座席には取り付けないこと

本製品をチャイルドシートとして使用する場合、フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。助手席などフロントエアバッグを装備している座席では使用できません。チャイルドシートは、後部座席に取り付けて使用してください。



弊社指定のベースの取扱説明書の指示に従うこと

本製品を安全にご使用いただくために、本取扱説明書の記載内容のほか、ISOFIX 固定にて使用する場合は本製品を取り付ける BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースの取扱説明書の内容をよく理解し、その指示に従ってください。本取扱説明書に記載していない内容でも、本製品の使用に関わる条件、使用方法、禁止事項等について記載されている場合がありますので必ずご確認ください。

弊社指定のベース以外のベースシートに取り付けないこと

安全に機能しませんので、BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースまたは**弊社指定のベース以外**のチャイルドシート取付用ベースに本製品を取り付けて使用しないでください。

使用可能なお子さまの条件を守ること

本製品は、身長 40cm ~ 75 cm、体重 13 kg までのお子さまにご使用いただけます。この条件は、本製品をベビーキャリア、リクライニングクレイドル、ベビーカーのシートとして使用する場合も同様です。使用可能なお子さまの条件を超えた場合、または満たない場合は使用しないでください。

車種適合表で取付可能と指示している座席にのみ取り付けること

車種適合表をご確認ください。車種適合表において取付不可としている車両、座席には取り付けないでください。

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）の指示に従うこと

本製品をチャイルドシートとして使用する場合は、自動車の取扱説明書を参照し、取り付け方法、位置、条件など、チャイルドシートの取り付け、使用に関する項目の指示に必ず従ってください。

本製品の取り付けにより、自動車の操作に支障をきたす座席には取り付けないこと

本製品をチャイルドシートとして使用する場合、本製品を取り付けることにより、自動車の操作や他の乗員の脱出になどに影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。

⚠危険

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。

異常、破損がある場合は使用しないこと

本製品が安全に機能せず、大変危険です。そのまま使用せず、巻末に記載の弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。

本製品を分解・改造したり、指定外の部品を追加しないこと

本製品が正しく機能しなくなるおそれがあります。分解・改造、指定外の部品が追加または指定外の部品に交換されている場合は保証の対象外となります。

お子さまを車内に放置しないこと

日差しが強い日には、自動車内は外気よりも高温になります。お子さまが熱中症になったり脱水症状をおこすおそれがあります。また、お子さまがチャイルドシートや自動車から抜け出そうとしてチャイルドシートから落下したり、ベルト、ハーネス類に絡まり窒息したり、誤って自動車を操作するなどして重大な事故につながるおそれがあります。いかなる場合、状態でも、絶対にお子さまを自動車内に放置してはいけません。

お子さまから目をはなさないこと

本製品使用中は、お子さまを一人にしたり、お子さまから目をはなしたりしないでください。



⚠警告

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことが想定されます。

運転前には必ずチャイルドシートの状態を確認すること

本製品をチャイルドシートとして使用する場合、運転を開始する前に、本製品の自動車の座席への取り付け状態または弊社指定のベースへの固定状態、弊社指定のベースの自動車の座席への取り付け状態を必ず確認してください。

自動車内では本製品を固定しておくこと

本製品をチャイルドシートとして使用していない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、本製品を自動車の座席に取り付け、正しく固定しておいてください。本製品が固定されていないと、交通事故や衝撃を受けた際に移動し、同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

自動車内にある動くものは固定しておくこと

急制動や事故の際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがあります。本製品に限らず、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

可倒式の座席では背もたれを固定すること

背もたれが前方向に倒れる可倒式の座席に本製品を取り付ける場合、背もたれは確実に起こした状態で固定すること。

背もたれが確実に固定されていない座席に本製品を取り付けると、衝撃を受けた際に背もたれが倒れ本製品が外れるなどして大変危険です。背もたれが確実に固定されていることを必ず確認してください。

警告

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことが想定されます。

走行中に本製品の操作を行わないこと

本製品の固定状態、弊社指定のベースへの取り付けの状態、お子さまの状態を確認する場合でも、自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。走行中に異常を発見したり、状態に不安が生じたりした場合、あわてず、自動車を安全な場所に停車させてから、本製品の操作をおこなうようにしてください。

強い衝撃を受けた場合や損傷した場合は使用を中止すること

落下した、自動車のドアで強くはさんだ、交通事故にあったなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品、弊社指定のベースは使用しないでください。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。重い荷物を本製品に乗せたり、過度に継続して加重を掛けたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強くはさむなどしないでください。

自動車のドアや可動座席に注意すること

可動式の座席にはさまれたり、自動車のドアの開閉時にあたるなどすると本製品のプラスチックの部品が破損するおそれがあります。あらかじめ本製品を取り付けるにあたって、これらの問題がないことを確認してください。

弊社指定のベースに取り付けた状態で、本製品を持ち上げないこと

本製品は、ベビーキャリーとして使用することができますが、BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ビーセーフ ISOFIX ベースに取り付けたままでお子さまを乗せたまま持ちあげたり、持ち運んだりしないでください。本製品が破損するなどして、お子さまが落下するおそれがあります。また、お子さまを乗せていない状態でも、本製品が破損して思わぬ事故につながるおそれがありますので、BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ビーセーフ ISOFIX ベースに本製品を取り付けたまま持ち運ばないでください。

大人の方が操作、調節を行うこと

お子さまに本製品の操作、調節を行わせないでください。操作、調節するお子さまがケガをするばかりか、本製品が正しく取り付けできず、重大な事故の原因となるおそれがあります。本製品の操作は、本書をよく読み、内容をよく理解した大人の方が行うようにしてください。

お子さまの手足が挟まれないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品の操作に関しては、お子さまを遠ざけて行うようにしてください。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去に生じた事故による衝撃や使用状況、保管状況等が不明なため使用してはいけません。また、部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、製造日から5年を経過した本製品は使用しないでください。また製造から5年を経過したBABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ビーセーフ ISOFIX ベースに本製品に取り付けて使用しないでください。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

警告

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことが想定されます。

BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースに故障、異常がある場合は使用しないこと

本製品を取り付けるBABYZEN™ YOYOチャイルドシート by ピーセーフ ISOFIXベースに故障、異常がある場合、正しく取り付けできていたとしても、チャイルドシートとして安全に機能しません。また、本製品は、3点式シートベルトでも自動車の座席に取り付けることができます。この場合は、車種適合表で取り付けの可否を確認した上で、本製品を3点式シートベルトで取り付けてください。ISOFIXで固定する場合と適合可否が異なる場合がありますので注意してください。

本製品使用中は、ハーネスを正しく装着してバックルを留めておくこと

お子さまを本製品に乗せる際には、常にハーネスを正しく装着してバックルを留めておいてください。

ハーネスを正しく装着してバックルを留めておくこと

ハーネスはゆるんでいたたり、ねじれていたり、絡んでいたりするところがないようにしっかりとしめてください。

ハーネスを正しく調節すること

ハーネスの高さ、長さを正しく調節して、適切な強さでお子さまを固定してください。お子さまの身体とハーネスの間に大人の方の指が1～2本差し込める程度（1cm前後）に調節してください。

ニューボーンハガーを正しく調節すること

ニューボーンハガーは、お子さまの身長、月齢によって調節します。お子さまの成長に合わせて、本書の指示に従って正しく調節してください。

本製品のシートカバー、ヘッドレスト（ハーネスパッド）を取り外して使用しないこと

本製品のシートカバー、ヘッドレスト（ハーネスパッド）は、本製品の安全に使用するための重要な部品です。これらを取り外して使用したり、非純正品に取り替えたり、他のもので代用したりしないでください。

本製品の下に保護マットなどを敷かないこと

本製品をチャイルドシートとして使用する場合、本製品の下に自動車の座席にキズをつけないためのマットやタオル、シーツなどを敷かないでください。事故や衝撃を受けた際に本製品が滑り、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品を正しく装着したことにより生じる、自動車の座席の表面のキズ、痕については補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。

警告

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことが想定されます。

本製品をベビーキャリアおよびクライニングクレイドルとして使用する場合

以下には、本製品をベビーキャリアおよびクライニングクレイドル（ロッキングチェア）として使用する場合に特に注意が必要な警告事柄を表記しています。

上記の、その他の危険、警告、注意事項と併せて下記の事柄をお守りください。

お子さまから目をはなさないこと

本製品使用中は、お子さまを一人にしたり、お子さまから目をはなしたりしないでください。



お子さまがひとりでお座りができるようになったら使用しないこと

お子さまが大人の手を借りずにひとりでお座りできるようになったら、クライニングクレイドル（ロッキングチェア）としての使用は中止してください。

長時間連続して使用しないこと

本製品は長時間連続して使用するには適していません。

ベッドとして使用しないこと

本製品は就寝用のベッドではありません。お子さまの就寝には、それに適したベッド製品をお使いください。

部品の欠落、破損がある場合は使用しないこと

本製品の部品が欠落していたり、破損個所がある場合は使用しないでください。

付属品以外のもの、非純正品のものは使用しないでください

本製品の使用に適した弊社純正の製品、部品以外のものに交換したり、追加して使用しないでください。

注意

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される状態を示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないかを確認してから操作、使用するようになしてください。

野外に駐車する際には、本製品に覆いをするなどして加熱を防ぐようになしてください。

直射日光が当たらないようにすること

お子さまに直射日光があたらないようにしてください。日光があたる部位は適切に保護するようになしてください。

マグネットを使用しています

本製品のハーネスパッドには、マグネットが使用されています。ペースメーカーを含む電子機器に影響を与える可能性があります。

△注意

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される状態を示します。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

適切にお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、材質を劣化させるような強力な洗浄剤は使用しないでください。また、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油など潤滑性のあるものを使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

機構部分に指を差し入れないこと

ケガをするおそれがありますので、本製品の稼働部分、機構部分に不用意に指を入れしないでください。

適度に休憩をすること

長時間にわたりお子さまを固定し続けると、お子さまのストレスになるばかりか、お子さまに疲労を与える可能性があります。よりお子さまに快適にご使用いただくため、適宜お子さまの様子を確認しながら、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

特に、チャイルドシートとして使用し、長時間のドライブになる場合、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

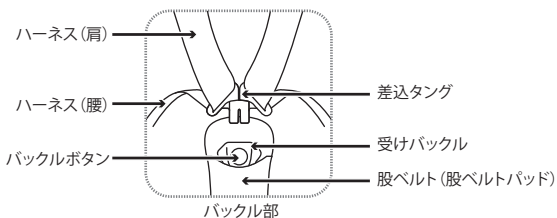
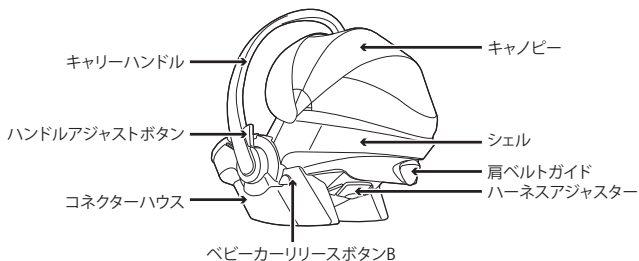
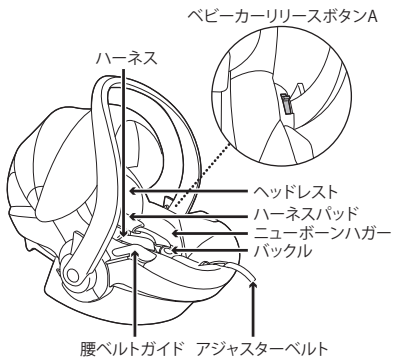
長期間使用しない場合は、自動車の座席から取り外しておくこと

本製品に汚れが付着するなどして正しく機能しなくなったり、乗員がケガをしたり、チャイルドシートの劣化につながるおそれがあります。本製品を長期間使用しないときは、自動車の座席から取り外してください。取り外した本製品は、そのまま車内に放置せず、適切に保管してください。

使用上の不明点があったり、問題点があると思われる場合は、巻末に記載の弊社カスタマーサービスまたは、本製品をお買い求めになった販売店までお問い合わせください。

各部の名称

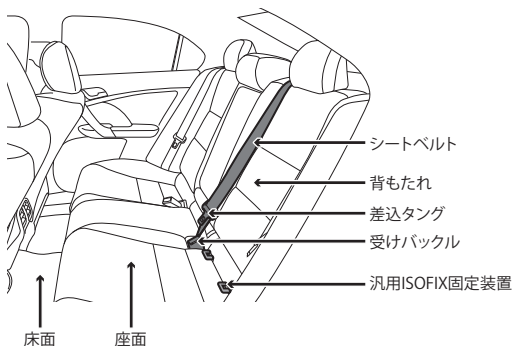
本製品の各部の名称



自動車の座席部位の名称

本書においては、チャイルドシートとして使用する場合、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

ただし、自動車の取扱説明書とは表現が異なる場合があります。お手元の自動車の取扱説明書の表記と照合して確認するようにしてください。



自動車の座席および部品に関する了承事項

本製品を、チャイルドシートとしてご使用いただく場合、本製品を正しく取り付けられた際に、自動車の座席にくぼみやキズなどが発生したり、自動車の部品の表面にキズがつく場合があります。また、別売りのBABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ビーセーフ ISOFIX ベースをご使用いただいた場合も同様に、自動車の座席にキズがつく場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品が所定の性能を発揮するためには、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられている必要があります。その結果として、自動車の座席および部品に生じるあらゆる損傷について、弊社は賠償の責を負わないものとさせていただきます。

警告

座席の上にカバーなどを敷かないでください

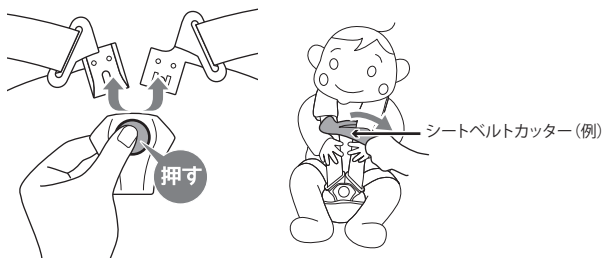
本製品が正しく取り付けられず、また、衝撃によって本製品が滑るなどして危険ですので、自動車の座席を保護する目的で、本製品を取り付ける座席の上に、座布団やクッション、カバーなどの敷物を置いてはいけません。

緊急時の操作

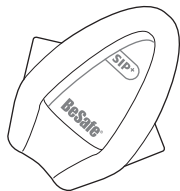
チャイルドシートモードでご使用の場合、交通事故などの緊急時には、あわてず、本製品のハーネスのバックルを操作して、ハーネスをお子さまから外し、速やかに自動車内から脱出させてください。

衝撃の影響によりバックルが外せない場合、お手元に市販のシートベルトカッターがある場合には、お子さまをキズつけないように注意しながら、ハーネスを切断してお子さまを脱出させてください。または、シートベルトカッターがない場合には、本製品を自動車の座席から外し、本製品ごとお子さまを脱出させるようにしてください。

また、この緊急時の操作について、運転者のみならず、他の乗員の方にも周知するようにしてください。



SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) の使いかた



本製品には、チャイルドシートとして使用する場合に側面衝突時の衝撃を緩和するSIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) が付属しています。

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) は、チャイルドシートの側面に取り付ける追加の安全機能です。側面からの衝撃を吸収し、お子さまの首、頭にかかる力を軽減します。

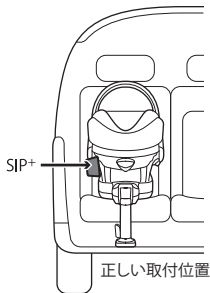
SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) は、本製品を左右どちらかの座席に取り付ける場合に、自動車のドア側の側面に取り付けて使用します。ドアの反対側や、本製品を中央の座席に取り付ける場合、ドアとの空間が狭く SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) がドアに干渉する場合には取り付けないでください。

ポイント

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) を取り付けると、側面衝突時の衝撃をより緩和します。

△注意

ドアに干渉する場合や中央席の場合は取り付けしないこと
SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）
を取り付けると自動車のドアに干渉する場合、中央席に取
り付ける場合には SIP+（アディショナル サイドインパクト
プロテクション）は取り付けないでください。またド
アの反対側（中央席側）には取り付けないでください。

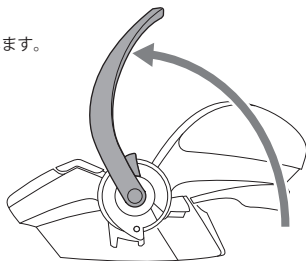


01

キャリーハンドルをキャリングポジションに調節します。

ポイント

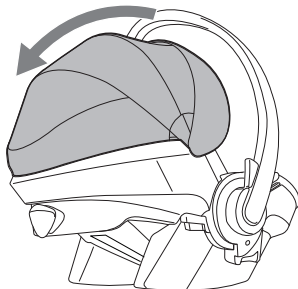
SIP+（アディショナル サイドインパクト プロ
テクション）はキャリングポジション以外では
取り付けできません。



参照 P23▷キャリーハンドルの使いかた▷02

02

キャノピーが開いている場合は閉じておきます。

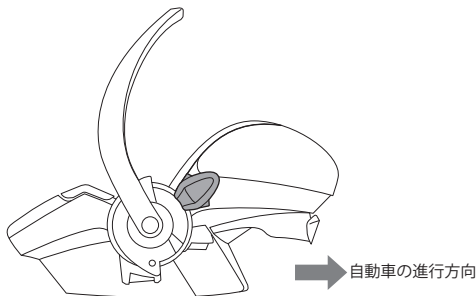


ポイント

キャノピーを開いた状態では取り付けが困難です。

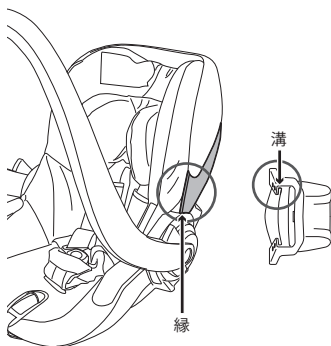
03

SIP+（アディショナルサイドインパクトプロテクション）の向きを確認します。下図の状態になるように取り付けます。SIP+（アディショナルサイドインパクトプロテクション）は、本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにした状態でドア側になる部分に取り付けますので本製品の向きにも注意してください。



04

SIP+（アディショナルサイドインパクトプロテクション）の溝の部分、シェルの縁（プラスチック部）にはめて取り付けます。



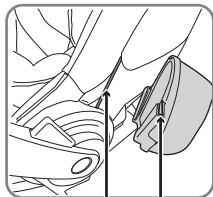
ポイント

SIP+（アディショナルサイドインパクトプロテクション）の左右には溝がついています。取り付ける側により、使用する溝が異なります。

05

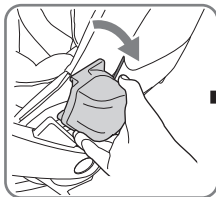
① シェル（本体）の縁に SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）の上側の溝をはめ込んで、② SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）を回しながら下側の溝を縁にはめ込んで取り付けます。

SIP+の溝に本体の縁をはめ込みます

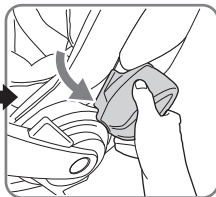


縁 溝

①最初に上側をはめて



②回しながら下側をはめ込みます



06

SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

07

取り外しは、逆の手順で行います。

基本的な使いかた

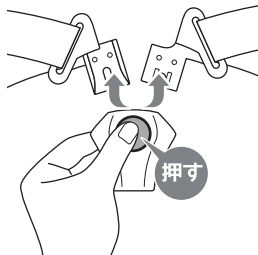
ここでは、本製品の基本的な使いかたを説明しています。使いかたはチャイルドシート、リクライニングクレイドル、ベビーキャリア、ベビーカー用のシートのいずれとして使用する場合も共通です。

実際にご使用になる前に必ず内容をご確認、ご理解ください。

バックルの使いかた

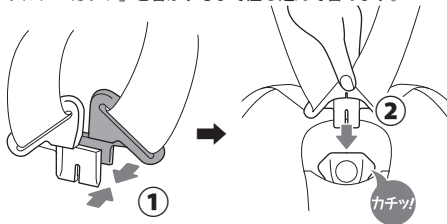
01

バックルを外すには、バックルボタンを押します。



02

バックルを留めるには、①正面から見て左側の差込タングを上にして、左右の差込タングを重ねて、②受けバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。



差込タングを引っ張り、差込タングと受けバックルが正しく結合されていることを確認してください。

⚠危険

バックルを留めておくこと

差込タングが受けバックルに正しく留っていないと、お子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品にお子さまを乗せる場合は、常にバックルを正しく留めてください。

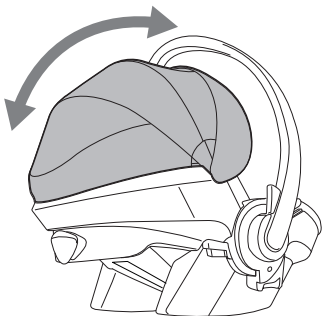
ポイント

受けバックルに、ゴミや食べかすが入らないよう、お子さまが使用していないときでもバックルは留めておくようにしてください。

キャノピーの使いかた

01

キャノピーは、前後に動かすことができます。お子さまの様子、日光の状態に応じて角度を変えてお使いください。






⚠警告

キャノピーを持って本製品を持ち上げないこと

キャノピーが破損したり、外れるなどして、本体が落下するおそれがありますので、キャノピーを持って本製品を持ち上げないでください。

キャリーハンドルの使いかた

キャリーハンドルは、3つのポジションで固定することができます。チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーカー用シートとして使用する場合は、キャリーハンドルをキャリングポジションに固定してください。

キャリングポジション 	○	チャイルドシート
	○	リクライニングクレイドル（ロッキングチェア）
	○	ベビーキャリー
	○	ベビーカー用シート
リクライニングクレイドル ポジション 	×	チャイルドシート
	○	リクライニングクレイドル（ロッキングチェア）
	×	ベビーキャリー
	×	ベビーカー用シート
チェアポジション 	×	チャイルドシート
	○	リクライニングクレイドル（ロック状態）
	×	ベビーキャリー
	×	ベビーカー用シート

⚠警告

チャイルドシートとして使用する場合は「キャリングポジション」に固定すること
 安全のため、チャイルドシートとして使用するときは、必ずキャリーハンドルをキャリング
 ポジションで固定してください。また、上図の通り、キャリーハンドルは、使用する目的に
 応じて使用可能なポジションで固定してください。

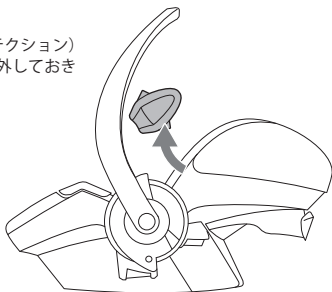
お子さまがひとりでお座りができるようになったら使用しないこと
 お子さまが大人の手を借りずにひとりでお座りできるようになったら、リクライニングクレ
 イドル（ロッキングチェア）としての使用は中止してください。

⚠注意

キャリーハンドルにものを掛けないこと
 キャリーハンドルが破損したり、掛けたものが落下してお子さまにあたるなどしてケガをす
 るおそれがありますので、キャリーハンドルに、物を掛けないでください。

01

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) が取り付けられている場合は、あらかじめ取り外しておきます。



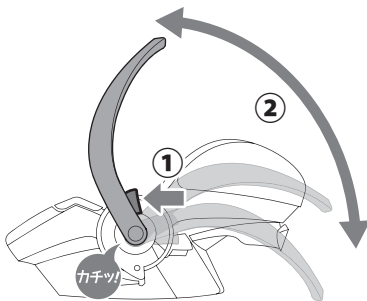
参照 P16 ~ P19 ▷ SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) の使いかた
▷ 01 ~ 07

ポイント

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) を取り付けられた状態でキャリーハンドルの調節はできません。

02

左右のハンドルアジャストボタンを①同時に押し、②キャリーハンドルを前後に動かして、目的のポジションで固定します。キャリーハンドルは、固定可能な位置で「カチッ!」と音がして固定されます。



ポイント

ハンドルアジャストボタンを左右同時に押さないとキャリーハンドルは動きません。

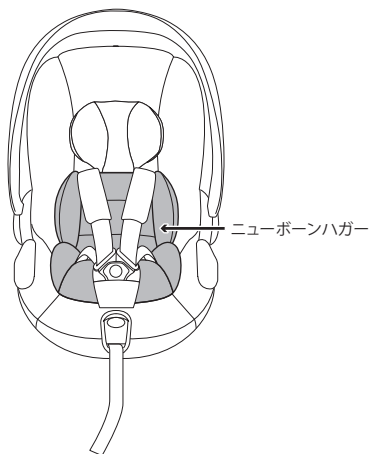
△注意

手指を挟まないように注意すること

キャリーハンドルを調節する際に、お子さまや操作される方がキャノピーやシェルとキャリーハンドルの間に手を挟んでケガをしないよう、注意して操作してください。

ニューボーンハガーの使いかた

本製品には、月齢の低いお子さまの安全と快適性のために、座部にニューボーンハガーが装備されています。ニューボーンハガーはお子さまの成長、月齢に応じて着脱してください。



⚠ 警告

ニューボーンハガーを正しく調節すること

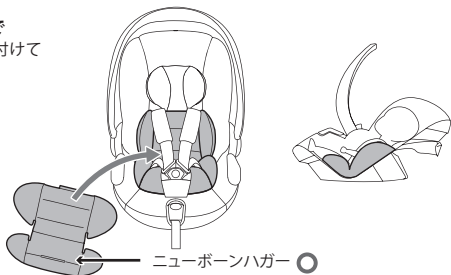
お子さまの姿勢が窮屈になったり、お子さまに負担が掛かったりするばかりでなく、本製品が安全に機能しないおそれがありますので、ニューボーンハガーを正しくお使いください。

お子さまの身長、月齢にあわせてニューボーンハガーを着脱して調節します。お子さまの身長が60cm以上（生後4か月頃）になったら、ニューボーンハガーを取り外します。

身長 60cm 未満

目安月齢：生後4か月頃まで

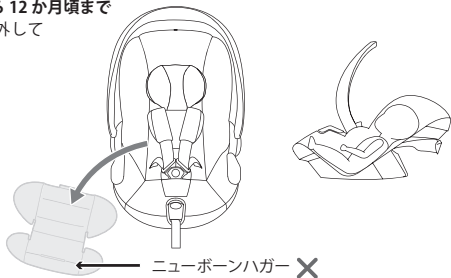
ニューボーンハガーを取り付けて
使用します



身長 60cm ～ 75cm まで

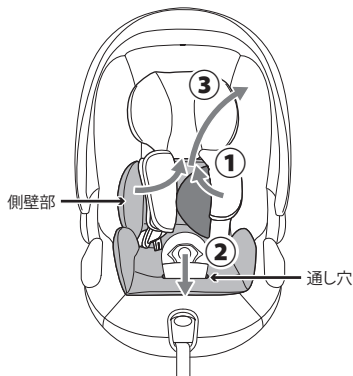
目安月齢：生後4か月頃から12か月頃まで

ニューボーンハガーを取り外して
使用します



01

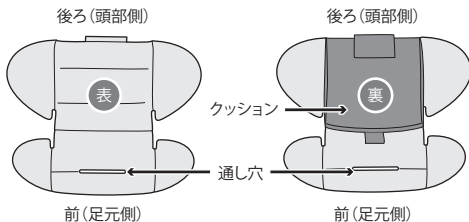
ニューボーンハガーを取り外すには、バックルを外し、①ニューボーンハガーの側壁部を内側に折り込むようにしてハーネスの下側から抜き、②股ベルト（股ベルトパッド）を通し穴から抜き、③取り外します。



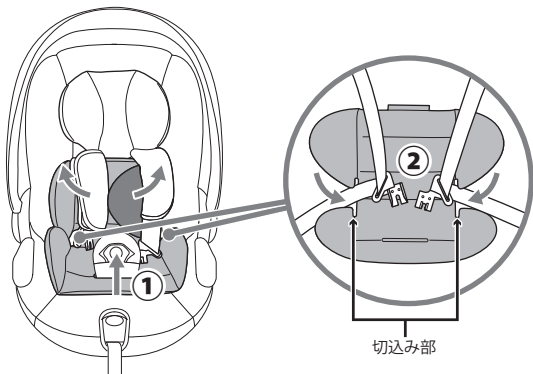
02

取り付けは逆の手順で行います。

ニューボーンハガーの裏表、前後を確認します。クッション側を裏にして、股ベルトの通し穴のある側を前（足元側）にします。



- ①ニューボーンハガーの通し穴から股ベルト（股ベルトパッド）を引き出します。
- ②ニューボーンハガーの左右の切込み部に腰ベルトを通すようにして取り付けてください。ニューボーンハガーを取り付けたら、バックルを留めておきます。



ハーネスの高さ調節

お子さまの成長（肩の位置）に合わせて、ハーネスの高さを調節します。お子さまを正しい姿勢で本製品に乗せて、お子さまの肩の位置を確認してください。ハーネスの正しい高さは、下図の通りです。

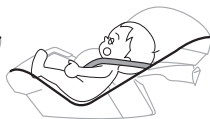
参照 P33▷お子さまの乗せかた▷03



○ 正しい高さ



× 低すぎる



× 高すぎる

ポイント

本製品のハーネスは、出荷時には最も低い位置に調節されています。

警告

ハーネスの高さを正しく調節すること

ハーネスが正しい高さに調節されていないと、お子さまが本製品から飛び出したり、お子さまに過度の負担がかかるなどして大変に危険です。お子さまの成長や、着衣の状態に合わせて常に正しい高さになるように調節してください。

01

バックルを外しておきます。お子さまが本製品に乗っている場合は、お子さまを降ろしてください。

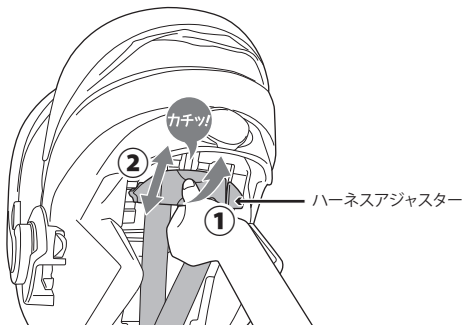
⚠注意

お子さまを乗せた状態でハーネスの高さ調節をしないこと

ケガをするおそれがありますので、お子さまを安全な場所に降ろしてからハーネスの高さを調節してください。

02

本製品後ろ側（背面）の①ハーネスアジャスターの下側を引き上げて、②上下にスライドさせてハーネスの高さを調節します。目的の高さでハーネスアジャスターから手を離してください。「カチッ」と音がして、ハーネスアジャスターが固定されていることを確認してください。



⚠警告

ハーネスアジャスターが固定されていることを確認してください

ハーネスアジャスターは4段階で固定できます。ハーネスアジャスターが固定されていないとハーネスの高さが突然変わり思わぬ事故につながるおそれがあります。4段階のいずれかの高さで固定してください。

⚠注意

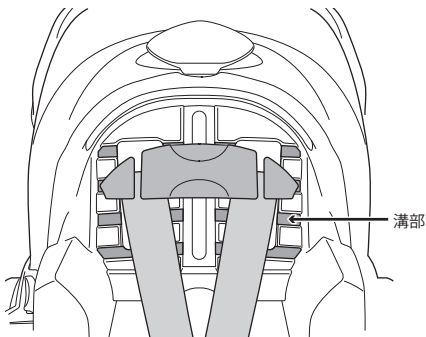
お子さまを乗せた状態でハーネスの高さ調節をしないこと

ケガをするおそれがありますので、お子さまを安全な場所に降ろしてからハーネスの高さを調節してください。

03

ハーネス（ハーネスアジャスター）は4段階で高さ調節することができます。
適切な高さにしてご使用ください。

ハーネスアジャスターは、背面の溝部にはめることにより固定されます。溝部にはまっていないと本製品の使用中に突然ハーネスの高さが動き思わぬ事故につながるおそれがありますので、4段階のいずれかのお子さまの体型に適した高さで確実に固定してください。



ハーネスのしめかた、ゆるめかた

ハーネスの高さが適切でも、ハーネスがゆるみすぎている、しめすぎられているとお子さまの安全に重大な影響を与えます。ハーネスの高さとともに、適切な状態でしめられている必要があります。

ポイント

ここでは、ハーネスのしめかた、ゆるめかたについて説明しています。使いかたをご理解いただくため、最初はお子さまを乗せずに操作方法を確認するようにしてください。

しめかた

警告

ハーネスのしめすぎ、ゆるめすぎに注意すること

お子さまとハーネスの間に大人の方の指が1～2本入る程度が適切な状態です。

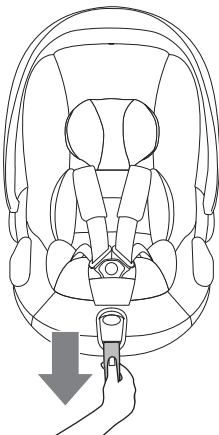
ハーネスをしめすぎるとお子さまを圧迫して思わぬ事故につながるおそれがあります。逆にハーネスがゆるすぎると事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出して重大な事故につながるおそれがあります。ハーネスは適切な状態でしめておくようにしてください。

01

バックルを留めます。

02

アジャスターベルトをゆっくりと引いてハーネスをしめます。

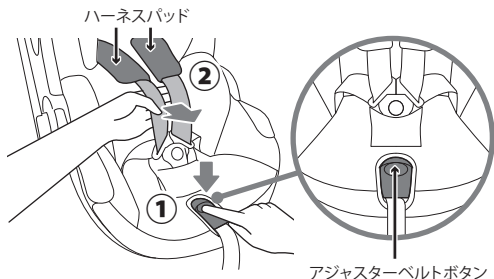


ゆるめかた

01

バックルを留めます。①アジャスターベルトボタンを押しながら、②左右のハーネスを束ねて持って引っ張り、ハーネスをゆるめます。

ハーネスパッドはヘッドパッドに接続されていますので、ハーネスパッドを持つとハーネスをゆるめることができません。



警告

ハーネスは左右同じ長さに調節すること

事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出すおそれがありますので、ハーネスは左右均等に長さを調節するようにしてください。

ポイント

片方の肩ハーネスだけを引いても、ハーネスをゆるめることはできません。左右の肩ハーネスを束ねて、左右同時に引いてください。

お子さまの乗せかた

本製品にお子さまを乗せます。適切な姿勢で乗せないとお子さまが窮屈になるばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。乗せかたはチャイルドシート、ベビーキャリー、リクライニングクレイドル、ベビーカー用のシートのいずれとして使用する場合も共通です。

警告

お子さまを適切な姿勢で乗せ、ハーネスを適切に調節して使用すること

不適切な姿勢、状態で使用すると、お子さまが窮屈になるばかりか、お子さまの健康に重大な影響を与えたり、落下、飛び出しの原因になります。

本製品使用中は、ハーネスを正しく装着してバックルを留めておくこと

お子さまを本製品に乗せる際には、チャイルドシートとしての使用時に限らず、必ず常にハーネスを正しく装着してバックルを留めておいてください。

01

バックルを留めて、あらかじめハーネスをゆるめておきます。

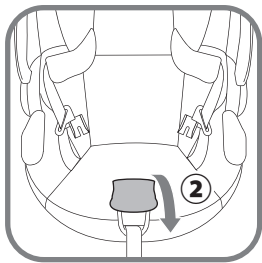
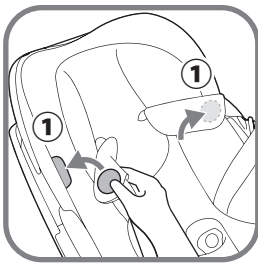
参照 P31▷ゆるめかた▷01

ポイント

ハーネスがしめ付けられていると、以下の操作ができません。十分にゆるめておいてください。

02

バックルを外し、お子さまを乗せやすいように、①左右それぞれのハーネスパッドの下部分を、シート左右のオレンジ色の磁石の部分に留め、②股ベルトを前側に倒しておきます。



注意

マグネットを使用しています

本製品のハーネスパッドには、マグネット（磁石）が使用されています。ペースメーカーを含む電子機器に影響を与える可能性があります。

03

お子さまの背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、ゆっくりと、やさしくお子さまを本製品に乗せます。

お子さまの股がちょうど、股ベルト（受けバックル）の位置にくるようにします。



ポイント

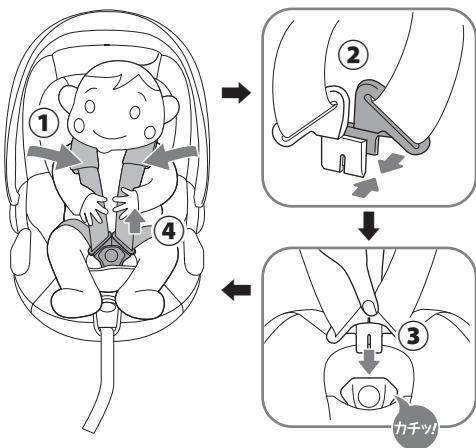
本製品はリクライニングクレイドル（ロッキングチェア）として機能します。このため、前後に揺れますので、ゆっくりと、やさしくお子さまを乗せてください。

キャリアハンドルをチェアポジションにしておくと、揺れなくなりますので、お子さまを乗せ降ろしやすくなります。

04

ハーネスをねじらないように注意して、①ハーネス（肩ハーネス）にお子さまの左右の肩を通して、②左右の差込タンクを重ねて、③受けバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。④差込みタンクを軽く引いて、差込タンクと受けバックルが正しく留まっていることを確認してください。

参照 P20▷バックルの使いかた▷02



警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスがねじれていると、本製品が所定の性能を発揮できなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。ハーネスにねじれがないようにしてください。

バックルを留めておくこと

差込タンクと受けバックルが正しく留められていないと、お子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出すなどして重大な事故につながるおそれがあります。使用するモードにかかわらず、本製品にお子さまを乗せる場合はバックルを必ず正しく留めてください。

05

①お子さまの身体とハーネスの間に指を1本～2本差し入れ、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引き、ハーネスのたるみを取ります。

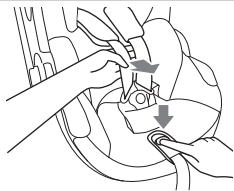
お子さまとハーネスの間に、大人の指が1本～2本（1cm）入る程度が適切な状態です。



ポイント

ハーネスをしめすぎた場合には、アジャスターベルトボタンを使い、ハーネスをゆるめてください。

参照 P31▷ゆるめかた▷01



警告

ハーネスは適切に調節すること

ハーネスがゆるいと、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするばかりでなく、お子さまに過度の負担が掛かるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。一方、ハーネスが強くなりすぎると、お子さまの身体に過度の負担が掛かり、思わぬ事故につながるおそれがありますので、ハーネスベルトは、適切に調節するようにしてください。

また、これらの事故を防ぐため、アジャスターベルトは勢よく引かず、ゆっくりと引くようにしてください。

チャイルドシートとして使用する

本製品は、あらかじめ自動車の座席に固定された BABYZEN™ YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースに取り付けてチャイルドシートとして使用することができます。また、本製品はベースを使用せずに自動車の ECE R16 またはそれに準ずる基準に適合した 3 点式シートベルトにより自動車の座席に固定して使用することもできます。

ISOFIX での使用

YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースを、i-Size (アイサイズ) 規格に対応する自動車の座席に ISOFIX により取り付けられた上で、本製品を取り付けて使用します。本製品単体では、ISOFIX での取り付けはできません。

⚠危険

弊社指定のベース以外には絶対に取り付けないこと

弊社指定のベースでのみ使用可能です。YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースの他、明確に弊社が本製品に取り付け可能と指定していないベースには取り付け使用しないでください。類似形状、類似商標の製品においても基準上取り付けできない製品がありますので、必ず本製品への対応をご確認ください。

⚠警告

弊社指定のベースおよび自動車の取扱説明書の指示に従うこと

本製品をベースに取り付けて使用するにあたり、本製品を取り付ける弊社指定のベースおよび自動車の取扱説明書を参照し、その指示に従ってください。

取り付けかた

01

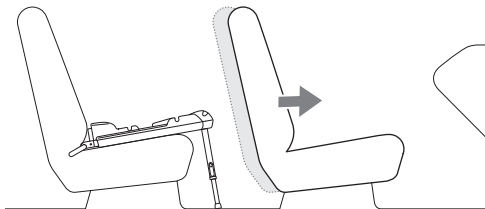
あらかじめ、YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースを自動車の座席に取り付けておきます。

ポイント

ここでは、YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースへの取り付け方法を記載しています。

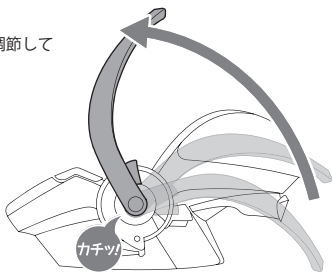
02

本製品を取り付ける座席の前の座席が可動式の場合は可能な限り前方にスライドさせておきます。



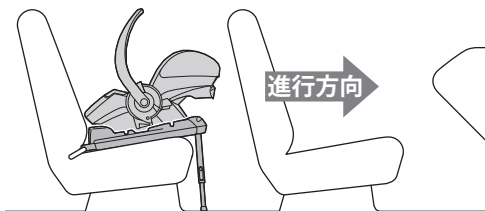
03

キャリーハンドルを、キャリングポジションに調節して固定します。



04

本製品の向きを確認します。本製品は、自動車の進行方向に対して後ろ向きに取り付けます。



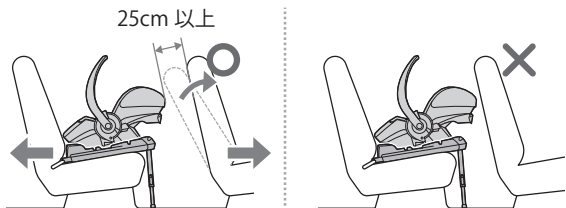
警告

後ろ向きに取り付けること

絶対に、本製品を前向きに取り付けてはいけません。

05

座席を前後に移動させるか、前席の座席のリクライニングを立てるなどして、取り付けた座席の前の座席と本製品の間に 25cm 以上の空間をあけます。



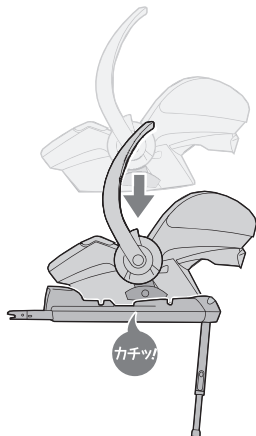
注意

前の座席との空間を 25cm 以上あけること

安全のため、座席の位置を前後に調節したり、前席のリクライニングを立てるなどして、本製品の前端と、前の座席との空間を 25cm 以上あけるようにしてください。

06

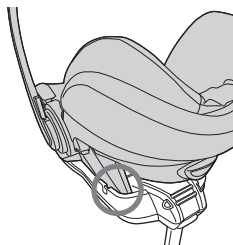
ベースの上に異物が乗っていないかを確認し、本製品の底面の位置をあわせて真上から乗せませす。「カチッ！」と音がしてしっかりと固定されていることを確認します。



ポイント

本製品は、YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX ベースの縁に沿ってはまるようになっています。

下図を参照して取り付けてください。

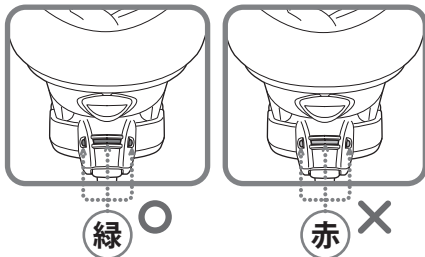


ポイント

YOYO チャイルドシートアダプター上部のみであれば、本製品に取り付けられた状態でもそのまま YOYO チャイルドシート by ピーセーフ ISOFIX に取り付けることができますが、YOYO チャイルドシートアダプター下部は必ず取り外してください。

07

ベースのシートインジケーターが緑色になっていることを確認してください。赤色になっている場合は、本製品が正しく固定されていないので、いったん取り外してもう一度取り付けなおしてください。

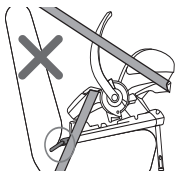


シートインジケーターが緑色になっていること

走行中に、チャイルドシートが本製品から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずベースのシートインジケーターが緑色になっていることを確認してください。

シートベルトで追加の固定をしないこと

弊社指定のベースに本製品を取り付けた上から、自動車のシートベルトで固定しないでください。本製品は、3点式シートベルトでの取り付けも可能ですが、弊社指定のベースに取り付けて使用する場合は、シートベルトで追加の固定をしても、よりしっかりと取り付けられる効果は全くなく、そればかりか、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。重大な事故の原因になりますので、絶対に、シートベルトやその他の方法での固定を追加しないでください。



YOYO チャイルドシートアダプターの上部には何も取り付けられないこと

YOYO チャイルドシートアダプター上部には、オプションの parasol を差し込み、取り付けるための差込口がありますが、本製品をチャイルドシートとして使用する場合には、差込口には何も差し込んだり取り付けたりしないでください。

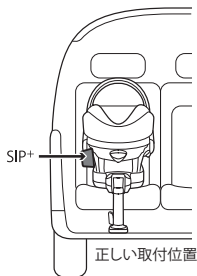


08

念のため、軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。

09

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) を取り付けて使用する場合は、取り付ける位置 (左右どちらか一方) を確認します。SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) は、自動車のドア側になるように取り付けます。



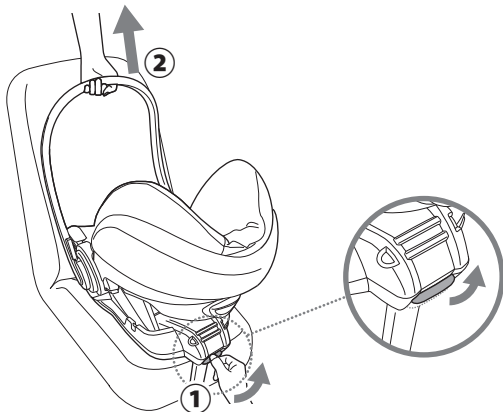
参照

P16 ~ P19 ▷ SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) の使いかた ▷ 01 ~ 07

取り外しかた

01

①ベースのシートリリースハンドルを引き上げて、本製品の固定を解除します。②そのまま真上に持ち上げて取り外します。



⚠警告

走行中にベースのリリースハンドルを引かないこと

自動車の走行中は、絶対にベース側のシートリリースハンドルを引いてはいけません。本製品の固定ロックが解除され、自動車の急制動や揺れにより、本製品が動いたり、お子さまや同乗者に危険がおよぶおそれがあります。

弊社指定のベースに取り付けた状態でチャイルドシートを持ち上げないこと

本製品およびベースが破損するおそれがあります。本製品を取り付けたまま、自動車の座席から取り外さないでください。座席からベースを取り外す場合は、必ず本製品をベースから取り外してからベースを取り外してください。

⚠注意

長期間使用しない場合は、自動車の座席から取り外しておくこと

本製品に汚れが付着するなどして正しく機能しなくなったり、乗員がケガをしたり、チャイルドシートの劣化につながるおそれがあります。本製品を長期間使用しないときは、自動車の座席から取り外しておいてください。取り外した本製品および弊社指定のベースはそのまま車内に放置せず、適切に保管してください。

3点式シートベルトでの使用

本製品は、ECE R16に準拠した3点式シートベルトにより自動車の座席に固定して使用することができます。

3点式シートベルトで自動車の座席に取り付けて使用する場合は、他の注意事項に加えて、以下の注意事項をお守りください。

⚠危険

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。

フロントエアバッグを装備している座席には取り付けないこと

本製品をチャイルドシートとして使用する場合、フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。助手席などフロントエアバッグを装備している座席では使用できません。

チャイルドシートは、後部座席に取り付けて使用してください。



3点式シートベルト以外では取り付けしないこと

本製品は、シートベルトの基準であるECE R16に準拠した3点式シートベルトによって取り付けることができます。

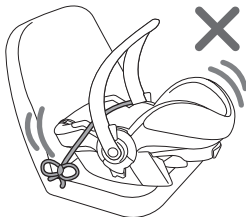
シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトやパッシブシートベルト（ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される）による座席への取り付けもできません。

なお、3点式シートベルトでも条件によっては取り付けできない場合がありますのでご注意ください。自動車の取扱説明書をご確認ください。



また、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のものでも本製品を固定しないでください。シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

3点式シートベルトで正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に絡んで窒息するなど、重大な事故につながるおそれがあります。



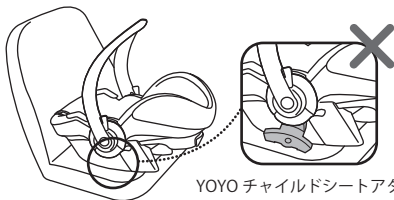
ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。

自動車のバックルやシートベルトに損傷がある場合は取り付けしないこと

自動車のバックル（受けバックル、差込タンク）、シートベルトに損傷がある場合には、本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したり自動車のバックルが外れたりして、本製品が座席から外れ、お子さまや他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

YOYO チャイルドシートアダプターのパーツを完全に取り外すこと

本製品を3点式シートベルトで自動車の座席に固定して使用する場合は、必ずチャイルドシート側のリリースボタンを操作してYOYO チャイルドシートアダプターを取り外してください。YOYO チャイルドシートアダプター上部が本製品に取り付けられた状態では3点式シートベルトで正しく固定することができませんので、完全に取り外してください。



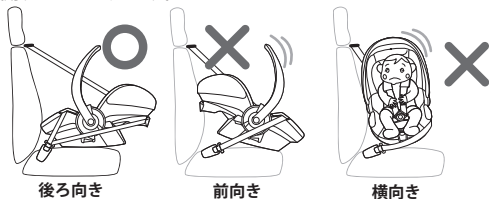
YOYO チャイルドシートアダプター

正しい向きの座席に、正しい向きで取り付けること

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの自動車の座席にのみ取り付けできます。進行方向に向かって後ろ向きや、横向きの自動車の座席に取り付けてはいけません。



かつ、本製品は、進行方向に向かって前向きの自動車の座席に、後ろ向きに取り付けられた状態でのみ使用することができます。



後ろ向き

前向き

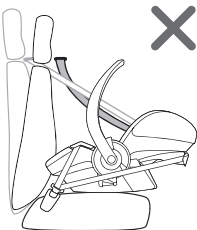
横向き

自動車の進行方向 →

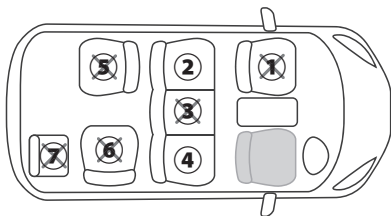
⚠危険

ここに記載されている事柄を守らなければ、使用者やお子さまが死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いことを示します。

本製品の取り付け後、座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には、取り付け状態を必ず確認すること
本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の前後の位置調節を行うと、取り付けがゆるむおそれがあります。これらの操作をした後は、必ず取り付け状態を確認してください。



取り付け可能な座席の位置と向き



座席位置	座席名称・説明	取付可否	摘要
①	助手席	×	フロントエアバッグが機能する座席には絶対に取り付けないこと。 フロントエアバッグの機能を停止させれば取り付け可能な場合もありますが、より安全な後部座席での使用を推奨します。
②	2列目左	○	取り付け可能です。3列目以降の座席でも取り付け可能な場合があります。
③	2列目中央	×	原則として取り付けできません [*] 。
④	2列目右	○	取り付け可能です。3列目以降の座席でも取り付け可能な場合があります。
⑤	進行方向に対し後ろ向きの座席	×	取り付けできません。
⑥	進行方向に対し横向きの座席	×	取り付けできません。
⑦	補助席	×	取り付けできません。

^{*} 3点式シートベルトを装備し、座席の形状、サイズが適していれば、中央の座席に取り付け可能な場合もありますが、より安全な左右の座席に取り付けてください。

シートベルトの種類の確認

本製品は、シートベルトの基準である ECE R16 に準拠した 3 点式シートベルトによって取り付けられますが、シートベルトの巻き取り装置の種類によって、本製品が適切に取り付けできない場合があります。下の表を参考にして、自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている 3 点式シートベルトの巻き取り装置の種類を確認してください。なお、弊社ホームページに掲載の「車種適合表」においては、シートベルトの種類も含み純正状態の自動車によって適合を確認しております。

また、弊社指定のベースを使用した場合（ISOFIX による取り付け）とは適合の状況が異なりますので、ご注意ください。弊社指定のベースを使用した場合の適合車種も同様に「車種適合表」に掲載しております。

シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取装置	シートベルトの引き出しを途中で止めるとその位置でシートベルトが固定され、巻き戻す方向にしか動かなくなり、それ以上は引き出せなくなる。	○	取り付け可能です。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出しできるが、衝撃などで急激に引かれるとそこでシートベルトが固定され、それ以上引き出しができなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
NR	シートベルトの固定機能がなく、どの状態でも引き出し、巻き戻しができる。	×	取り付けできません。
ELR/ALR チャイルドシート 固定機能つき ベルト巻取装置	通常は ELR として機能するが、シートベルトを最後まで引き出すと ALR に切り替わる。ALR に切り替わった場合、最後まで巻き戻すと再び ELR に切り替わる。	○	ELR の状態で取り付けてください。ALR に切り替わってしまった場合、シートベルトを最後まで巻き戻して、ELR に切り替えてから取り付けしてください。
その他	2 点式シートベルト・5 点式シートベルト・パッシブシートベルトなど。	×	取り付けできません。

⚠危険

車種適合表を確認すること

シートベルトの種類が適合していても、他の条件によって、取り付けができない車種、座席があります。取り付け可能な車種、座席に関しては、弊社ホームページに掲載の「車種適合表」を確認いただくか、本取扱説明書の巻末に記載されている弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

ポイント

中古車や限定モデル、特別仕様車など、座席そのものや座席のシートベルトが自動車の取扱説明書の内容や一般的な仕様と異なる場合があります。シートベルトの種類が確認できない場合には、自動車をお買い求めになったディーラーや、自動車のメーカー等にお問い合わせください。

取り付けかた

3点式シートベルトで自動車の座席に取り付ける場合、本製品の左右のコネクターハウスからYOYO チャイルドシートアダプターの部品を完全に取り外してください。本製品をBABYZEN™ YOYO² フレームに取り付けてベビーカー用のシートとして使用している場合、本製品のベビーカーリリースボタンを操作して、本製品をYOYO² フレームに取り付けたYOYO カーシートアダプターから取り外してください。(P54「取り外しかたA」参照)

YOYO チャイルドシートアダプター側のリリースボタンは、操作しないでください。

01

お子さまが乗っている場合は、安全な場所に降ろしておきます。3点式シートベルトで取り付けの場合は、お子さまを乗せたままで作業しないでください。

警告

お子さまを乗せたままの状態で作業しないこと

3点式シートベルトによる取り付けの場合、お子さまを乗せたまま、本製品の自動車の座席への取り付け、取り外しをしないでください。

02

自動車の座席が前後に動かせる場合、適切な位置に自動車の座席を調節します。

ポイント

3点式シートベルトによる取り付けの場合、取り付け時に自動車の座席を後ろに下げおき、取り付け後に座席を前に動かすと、本製品をより強く固定できます。

ただし、自動車のボディではなく、座席にシートベルトの取り出し口が装備されている車両では、座席とシートベルトが連動して移動するため、この効果はありません。

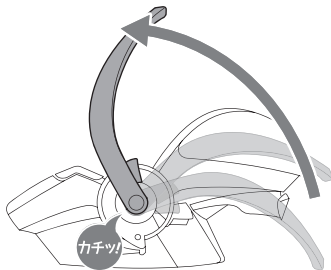
警告

本製品取り付け後に座席を後ろに移動させないこと

本製品を取り付け後に取り付け座席を後ろに移動させてはいけません。本製品の取り付けがゆるむ場合があります。

03

キャリーハンドルを、キャリングポジションに調節して固定します。

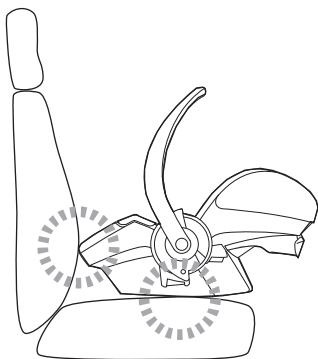


04

本製品を、自動車の座席に、後ろ向きに設置します。本製品の底面と先端が自動車の座席と背もたれの両方にそれぞれ接するように設置してください。

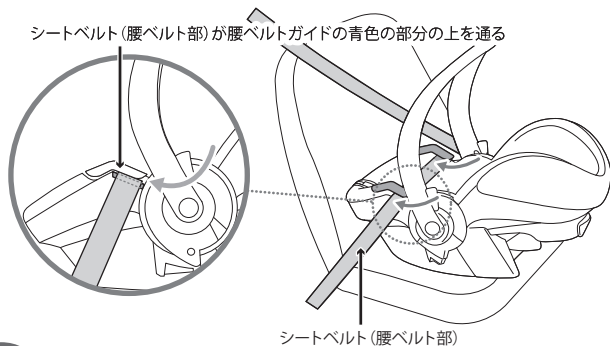
ポイント

以下は、進行方向に向かって右側にシートベルト（肩）の取り出し口、左側に受けバックルのある座席での取り付け方を説明しております。反対側の座席に取り付ける場合は、左右が逆になります。



05

シートベルトをゆっくりと引き出し、ねじれないように注意しながら、左右の腰ベルトガイドにシートベルトの腰ベルト部分を差し入れて通します。しっかりと腰ベルトガイドの奥まで差し込むようにしてください。腰ベルトガイドの青色の部分にシートベルトの腰ベルト部分が通るようにしてください。



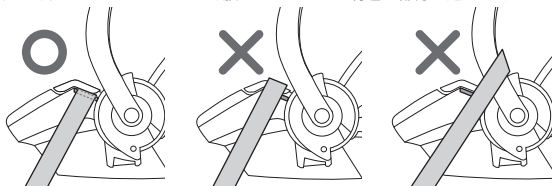
ポイント

シートベルトが途中で引き出せなくなった場合は、シートベルトのロック機構が働いている可能性があります。シートベルトのロックを解除して、操作しなおしてください。

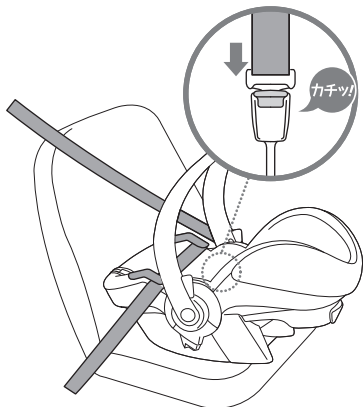
⚠危険

左右の腰ベルトガイドにシートベルト（腰ベルト部）を正しく通すこと

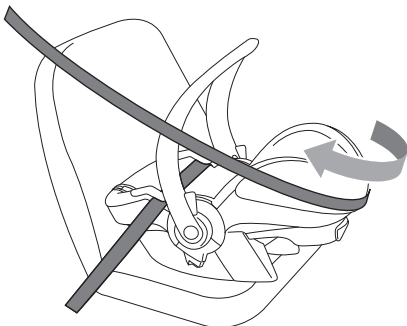
事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがありますので、シートベルトを正しく腰ベルトガイドの青色の部分に通してください。

**06**

シートベルト（腰ベルト部、肩ベルト部）にねじれがないことを確認して、自動車の差込タンクと受けバックルに「カチッ！」と音がするように、しっかりと留めます。

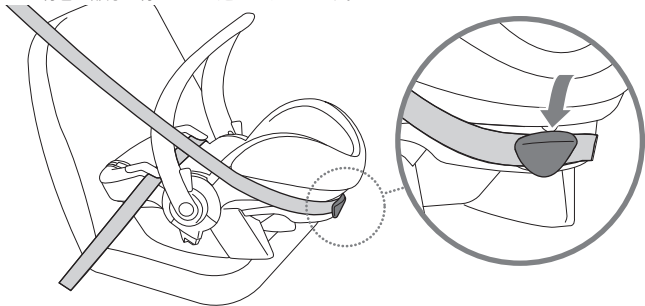
**07**

シートベルト（肩ベルト部）がねじれないように注意しながら、本製品の背面側に回します。



08

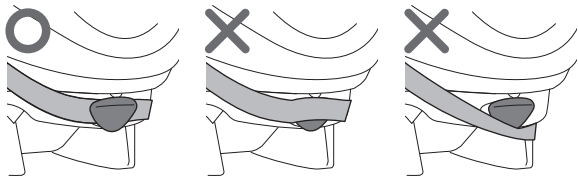
肩ベルトガイドの青色の部分に、シートベルト（肩ベルト部）を差し入れます。SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）を取り付けている場合はSIP+に干渉しないように注意してください。しっかりと肩ベルトガイドの奥まで差し込むようにしてください。肩ベルトガイドの青色の部分を通るようにします。



⚠危険

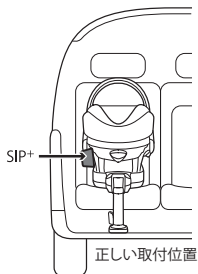
左右の腰ベルトガイドにシートベルト（腰ベルト部）を正しく通すこと

事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがありますので、シートベルトを正しく肩ベルトガイドの青色の部分に通してください。



09

SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）の取り付け位置を確認します。SIP+（アディショナル サイドインパクト プロテクション）を使用する場合はドア側になるように取り付けてください。



⚠危険

SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) がシートベルトに干渉しないように注意すること

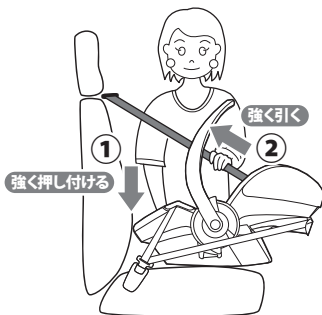
3点式シートベルトで取り付ける場合、SIP+ (アディショナル サイドインパクト プロテクション) がシートベルトに干渉していると本製品が破損するばかりでなく、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に機能しないおそれがあります。

SIP+ にシートベルトが干渉した状態で固定しないこと

SIP+ を取り付けて使用する場合、シートベルトが SIP+ に掛からないようにしてください。シートベルトが SIP+ に掛かっていると、本製品が破損するばかりでなく、事故や衝撃を受けた際に本製品が正常に機能しないおそれがあります。

10

①本製品の座面を自動車の座席に強く押し付けながら、②シートベルト (肩ベルト部) をシートベルトの取り出し口の方向に強く引いて、しめつけます。シートベルトがゆるみ、しっかりと固定できませんので、シートベルトの腰ベルト部の上には手を置かず、本製品の座面を押しつけてください。



⚠注意

ケガをしないよう注意して操作すること

座面を押し付ける際に、本製品のバックルなどの部品でケガをしないように注意してください。

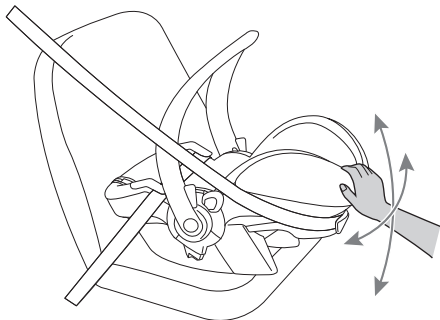
ポイント

本製品のしめ付けが完了する前にシートベルトの固定機能が働くと、それ以上しめ付けることができなくなり、本製品を正しく取り付けることができません。シートベルトの固定機能が働いてしまった場合には、自動車の取扱説明書を参照して、シートベルトの固定機能を解除してから作業をやり直してください。

より強くシートベルトをしめつけるほど、本製品はしっかりと固定されます。

11

本製品の上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。3cm以上本製品が動く場合は取り付けがゆるい状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。



⚠危険

取り付けがゆるい状態では絶対に使用しないこと

取り付けがゆるい状態で使用すると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れて飛び出すおそれがあります。

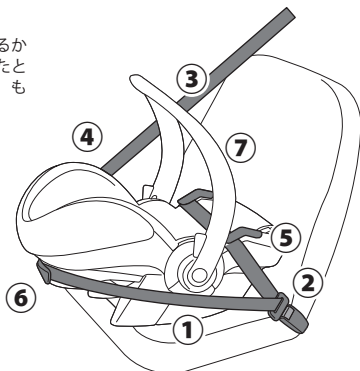
⚠注意

キャノピーを持って動かさないこと

キャノピーが動いて取り付けの状態が正しく確認できないおそれがあります。また、キャノピーが破損するおそれがありますので、キャノピーを開いた状態の場合、キャノピーを持って動かさないようにしてください。

12

最後に、正しく本製品が取り付けられているか確認します。しっかりと取り付けられていたとしても、一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



①	シェルの底部と先端が、それぞれ自動車座席の座面、背もたれに接していること YOYO チャイルドシートアダプターが完全に取り外されていること
②	シートベルトのバックル（受けバックル・差込タング）が確実に留まっていること
③	シートベルト（肩ベルト部・腰ベルト部）にねじれがないこと
④	SIP+ にシートベルトが干渉していないこと
⑤	腰ベルトガイドに、正しくシートベルト（腰ベルト部）が通っていること
⑥	肩ベルトガイドに、正しく肩ベルトが通っていること
⑦	キャリアハンドルが、キャリングポジションで固定されていること

⚠危険

常に正しく取り付けで使用すること

本製品は、常に正しく取り付けで使用してください。本製品の取り付けがゆるかったり、正しく取り付けられていなかったりすると、衝撃を受けた際に、本製品が外れるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠警告

本製品取り付け後にリクライニング操作をしないこと

本製品を取り付けた後で自動車の座席のリクライニングを操作しないでください。本製品を取り付けた後で、リクライニングを操作すると、本製品の取り付けがゆるむ場合があります。

ポイント

正しく取り付けられていても、使用に伴い、また、お子さまや他の乗員の方が触るなどして取り付けがゆるんでしまっている可能性があります。使用する前には毎回、必ず本製品が正しくしっかりと取り付けられているかどうか、確認するようにしてください。

取り外しかた

01

お子さまを安全な場所に降ろしてから操作します。取り外しは取り付けの逆の手順で行ってください。

取り外した本製品は車内に放置しないでください。

⚠警告

お子さまを乗せたまま作業しないこと

3点式シートベルトによる取り付けの場合、お子さまを乗せたまま、本製品の自動車の座席への取り付け、取り外しをしないでください。

ベビーカーのシートとして使用する

本製品は、BABYZEN™ YOYO² フレーム（別売）に取り付けることによりベビーカーのシートとして使用することができます。

BABYZEN™ YOYO² フレームの取扱説明書を併せてご確認ください。

⚠危険

対応外のベビーカーには取り付けないこと

弊社が指定する製品以外のベビーカーには取り付け使用することはできません。

⚠注意

ベビーカーの取扱説明書の指示に従うこと

本製品を取り付けるベビーカーの取扱説明書に記載されている注意事項や使用方法をお守りください。

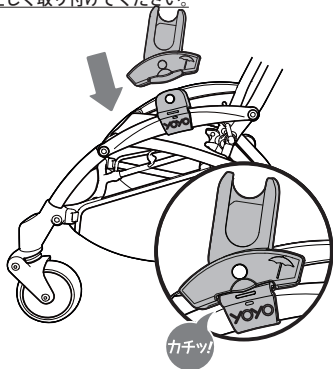
取り付けかた

あらかじめ、本製品に付属されている BABYZEN™ YOYO チャイルドシート アダプターを BABYZEN™ YOYO² フレームに取り付けておきます。YOYO² フレームおよび YOYO チャイルドシートアダプターの取扱説明書を確認して、正しく取り付けてください。

⚠危険

YOYO チャイルドシートアダプターを確実に取り付けること

YOYO² フレームに YOYO チャイルドシートアダプターが確実に固定されていないと、使用中に本製品が YOYO² フレームから外れて落下するおそれがあります。



01

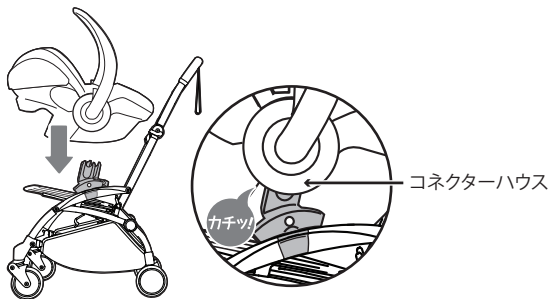
キャリーハンドルを、キャリングポジションに調節して、固定してください。
ベビーカー用のシートとして使用する場合は、キャリングポジションで使用します。

02

本製品を YOYO² フレームに固定するには、本製品をベビーカーからの取り外しかたにより 2 通りの方法があります。ベビーカーからの取り外す 2 通りの方法については次項の「取り外しかたを参照してください。

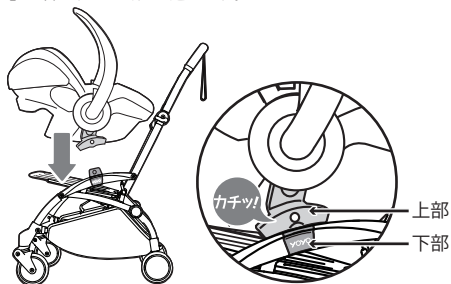
取り外しかた A で取り外した場合

本製品を、ベビーカーの進行方向に対して後ろ向きにして、コネクタースタックと YOYO² フレームに取り付けられた YOYO チャイルドシートアダプターの位置を合わせて、差し入れていきます。左右のコネクタースタックから「カチッ！」と音がするまで差し込みます。



取り外しかた B で取り外した場合

本製品を、ベビーカーの進行方向に対して後ろ向きにして、コネクタースタックに取り付けられた YOYO チャイルドシートアダプター上部と YOYO² フレームの YOYO チャイルドシートアダプター下部の位置を合わせて、差し入れていきます。左右の YOYO チャイルドシートアダプターが「カチッ！」と音がするまで差し込みます。

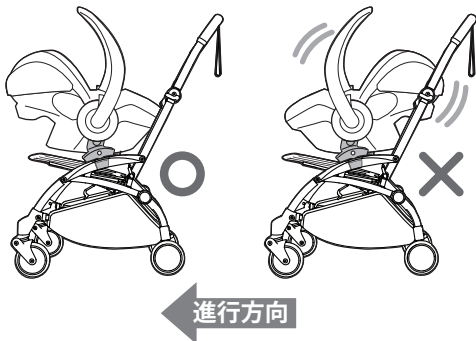


YOYO チャイルドシートアダプター

⚠危険

進行方向に対して後ろ向きでのみ取り付け可能

本製品は、ベビーカーの進行方向に対して、後ろ向きでのみ取り付け可能です。前向きには取り付けないでください。本製品が落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品を確実に固定すること

本製品が確実に固定されていないと、本製品が突然落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

左右の YOYO チャイルドシートアダプター、YOYO² フレーム、本製品がそれぞれ確実に固定されていることを確認してください。

03

キャリーハンドルを持ち、本製品を軽く引き上げてみて、本製品が確実にベビーカーに固定されていることを確認します。

⚠警告

キャリーハンドルを持ってベビーカーを持ち上げないこと

本製品のキャリーハンドルのみを持ってベビーカーを持ち上げようとししないでください。キャリーハンドルが破損し、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

取り外しかた

ベビーカーから本製品を取り外すには次の2通りの方法がありますが、「取り外しかた B」で取り外した場合は、本製品をチャイルドシートとして使用する場合に3点式シートベルトで取り付け使用することができません。3点式シートベルトで取り付ける場合は必ず「取り外しかた A」の方法で取り外してください。

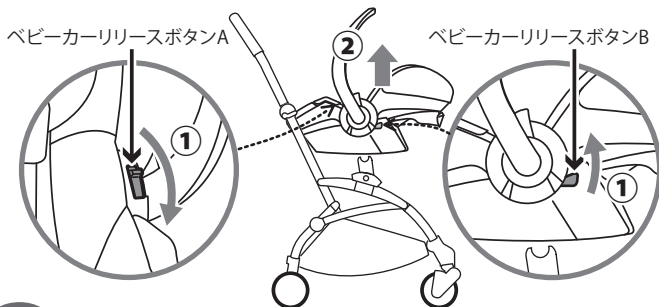
取り外しかた A

本製品のベビーカーリリースボタン A またはベビーカーリリースボタン B を使用して取り外します。

ポイント

本製品を 3 点式シートベルトで自動車の座席に固定してチャイルドシートとして使用する場合は、必ずこの方法で取り外してください。

キャリアハンドル根元の左右にある①ベビーカーリリースボタン A またはベビーカーリリースボタン B を操作して本製品を YOYO チャイルドシートアダプターとの固定を解除して、②ゆっくりと真上に本製品を抜いて取り外します。ベビーカーリリースボタンは左右同時に操作してください。



ポイント

ベビーカーリリースボタン A とベビーカーリリースボタン B は連動していますが、それぞれ左右は連動していませんので左右を同時に操作してください。

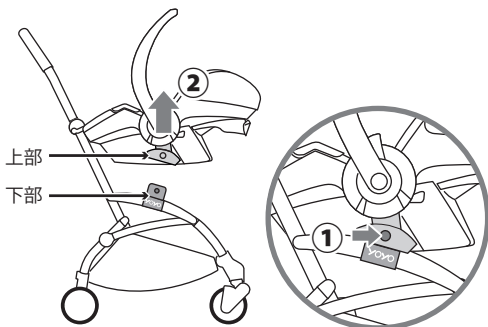
取り外しかた B

YOYO チャイルドシートアダプターの上部と下部を分離して取り外します。この場合、YOYO チャイルドシートアダプターの上部がコネクターハウスに取り付けられたままの状態になります。

⚠危険

YOYO チャイルドシートアダプターの上部がコネクターハウスに取り付けられたままの状態
で 3 点式シートベルトで固定する方式でチャイルドシートとして使用しないこと
YOYO チャイルドシートアダプター上部が干渉して正しく自動車の座席に取り付けることが
できません。3 点式シートベルトで固定する場合は本製品を「取り外しかた A」の方法でベビ
ーカーから取り外してください。

左右の YOYO チャイルドシートアダプターの中央にある①ボタンを押して固定を解除します。左右のボタンを同時に操作してください。②そのままゆっくりと真上に本製品を抜いて取り外します。この取り外しかたの場合、YOYO チャイルドシートアダプターの上部が本製品のコネクターハウスに取り付けられた状態になります。



YOYO チャイルドシートアダプター

⚠注意

本製品を真上に持ち上げること

本製品が YOYO チャイルドシートアダプターから（または YOYO チャイルドシートアダプターの下部から）完全に抜けきっていない状態で本製品を左右に動かすと、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

リクライニングクレイドル・ベビーキャリアとして使用する

01

周囲に危険がなく、平らで安定した場所に本製品を置きます。

ポイント

キャリアハンドルをチェアポジションにすると、本製品が揺れずに安定しますのでより安全にお子さまの乗せ降ろしができます。

02

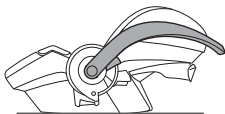
お子さまを乗せて、バックルを留めます。

参照 P32～P34▷お子さまの乗せかた▷01～05

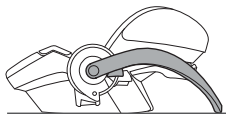
03

リクライニングクレイドルとして使用する場合は、キャリアハンドルをリクライニングクレイドルポジションにして、ゆっくりと軽く、優しく前後に揺らしてご使用ください。キャリアハンドルをチェアポジションにすると、前後に揺れずに安定させることができます。





リクライニングクレイドル
ポジション



チェアポジション

警告

お子さまから目を離さないこと

お子さまを本製品に乗せたまま放置しないでください。必ず保護者の方の目が届くところでご使用ください。

ベッドとして使用しないこと

本製品は、お子さま用のベッドとしての使用には適していません。お子さまの安全のため、本製品をお子さまの就寝用のベッドとしては使用しないでください。

使用する場所に注意すること

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具のそば、コンセントの近く、電気ケーブルの上、落下すると危険な物品の置いてある棚やテーブルの近くなどでは絶対に使用しないでください。また、本製品が動き、落下するおそれがありますので、テーブルや椅子の上など、高さのある場所で使用してはいけません。

お子さまがひとりでお座りができるようになったら使用しないこと

お子さまが大人の手を借りずにひとりでお座りできるようになったら、リクライニングクレイドル（ロッキングチェア）としての使用は中止してください。

注意

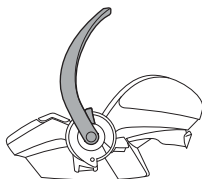
長時間連続してゆらさないこと

リクライニングクレイドル（ロッキングチェア）として使用する場合、長時間揺らし続けると、お子さまの気分が悪くなることがありますので、様子を見ながらお使いください。また、食事直後の使用もお控えください。新生児期は、特にお子さまの様子に注意してください。

04

ベビーキャリアとして使用する場合は、キャリアハンドルを、キャリングポジションに調節して、固定します。

ベビーキャリアとして使用する場合は、キャリングポジションでのみ使用可能です。



キャリングポジション

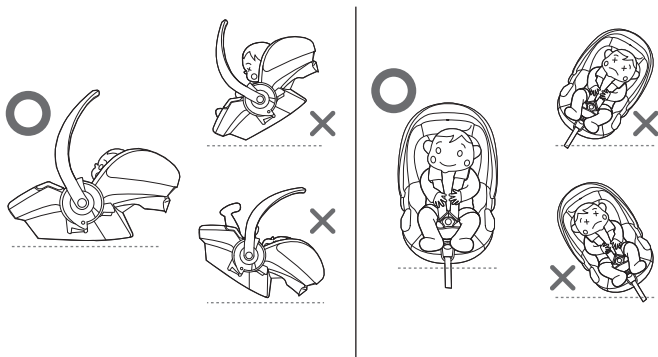
危険

キャリアハンドルがキャリングポジションで確実に固定されていること

キャリアハンドルが確実に固定されていないと、キャリアハンドルが突然動き、お子さまが落下するおそれがあります。また、本製品が安定せず、本製品が落下したり、お子さまが落下するおそれがあります。キャリングポジション以外で、ベビーキャリアとして本製品を使用しないでください。

05

キャリーハンドルを握って、地面に対して水平になるようにして持ちます。または、キャリーハンドルを腕に通し、肘に掛けて持ちます。



ポイント

本体が身体にあたり、本製品が揺れる場合は、片手で本体を支えるようにします。また、極端な段差のある場所や、階段、間口の狭い通路などで本製品を使用する場合には、足元の段差や、壁、柱などに本製品をぶつけないよう注意しながら慎重に使用します。

警告

お子さまを正しく乗せて、ハーネスを正しく調節してしっかりとバックルを留めておくこと
お子さまが本製品から落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが乗っている状態のまま本製品を動かす際には、必ずハーネスを正しく調節し、お子さまを正しい姿勢で乗せ、バックルがしっかりと留まっている事を確認してください。

キャリーハンドルを持って使用すること

キャリーハンドルを持たず、本製品の他の部位を持つと本製品が破損するばかりか、重心が安定せず、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。キャリーハンドル以外の部位を持つ場合は、本製品を安定させるために手を添える程度にしてください。

本製品の本体は、頑丈に作られています。お子さまが乗った状態では、重心の位置が動くなどして手が滑り、本製品ごとにお子さまが落下するおそれがあります。お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げる際には、重心を安定させるためにも、必ずキャリングモードで固定されたキャリーハンドルを使用してください。

本製品を水平に保つこと

お子さまが本製品から落下するなどして重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を斜めにするなど本製品が安定しない状態で持たないでください。また、お子さまに過度な負担がかかったり、お子さまが本製品から落下したりするおそれがありますので、お子さまが乗ったまま本製品を大きく振るなどしてはいけません。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためにシートカバー、ニューボーンハガー、ヘッドレストを取り外すことができます。洗濯できない部品もありますので、ご注意ください。

⚠危険

取り外したシートカバー、ヘッドレストは必ず取り付けなおすこと

シートカバー、ヘッドレストは本製品を構成する重要な安全部品です。シートカバー、ヘッドレストを必ず元通りに取り付けなおしてください。お子さまの月齢、体格、身長に応じてニューボーンハガーを取り付けなおしてください。

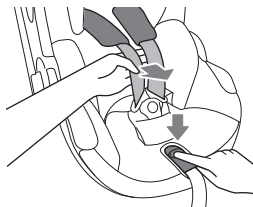
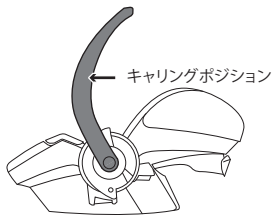
⚠注意

以下に注意して操作してください

- シートカバー、ヘッドレストの取り外し、取り付けの際に、シェル内部の衝撃吸収材やEPSフォームなどをキズつけないよう慎重に作業してください。
- シェルの内側の部分に手を入れる際などにケガをしないよう、慎重に作業をしてください。
- 取り外した部品をなくさないようにしてください。
- 取り外す際に、シートカバー等が引っかかったりした場合、無理に取り外そうとせず、状態を確認するようにしてください。完全に取り外しできる状態になるまで、シートカバーやヘッドレストをシェルから無理に引きはがそうとしないでください。

ポイント

キャリアハンドルを、キャリングポジションにして、ハーネスをゆるめておくと、作業がしやすくなります。



ニューボーンハガー

本製品から取り外してお手入れします。

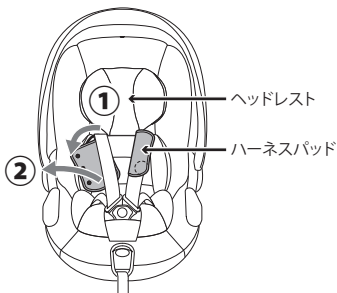
参照 P26～P27▷ニューボーンハガーの使いかた▷01～02

ヘッドレスト・ハーネスパッド

ヘッドレストとハーネスパッドは連結されていますので、同時に取り外します。

01

あらかじめバックルを外しておきます。ハーネスパッドを取り外すには、①スナップボタン(3カ所)を外して、②ハーネスから抜いておきます。ハーネスパッドとヘッドレストは連結されていますので、この時点ではハーネスパッドを取り外すことはできません。



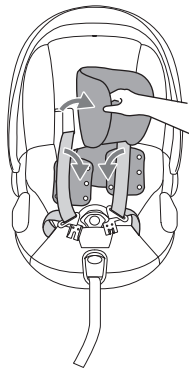
⚠注意

無理に外そうとしないこと

ハーネスパッドは、ヘッドレストに縫い付け固定されています。ハーネスパッドだけを取り外すことはできません。ここでは、ハーネスパッドを開いてハーネスから抜く作業をします。

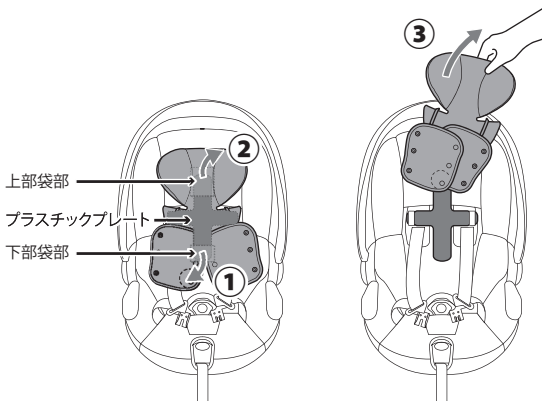
02

ハーネスは、ヘッドレストの上部と下部の間に通されています。ヘッドレストの下側をめくり、ハーネスを外側に出して、ヘッドレストの下側にします。左右とも同じようにしてください。



03

ヘッドレストは、裏側で本体背もたれ部の十字形のプラスチックプレートに固定されています。
①ヘッドレストに縫い付けられた下部袋部を下方方向に抜いてから、②上部袋部を抜き、③ヘッドレスト（ハーネスパッド）を取り外します。

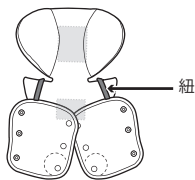


ポイント

取り付けの際には、左右の黒いバンドに十字形のプラスチックプレートが差し込まれていることを確認し、先に上部袋部にプラスチックプレートを差し込んでから下部袋部に差し込みます。

04

お手入れ後、逆の手順で取り付けてください。取り付けの際には、ヘッドレストを取り付ける際には、ヘッドレストとハーネスパッドをつなぐ紐を前側（表側）に出しておいてください。取り付けの際に、ハーネスをねじらないように注意してください。



シートカバー

01

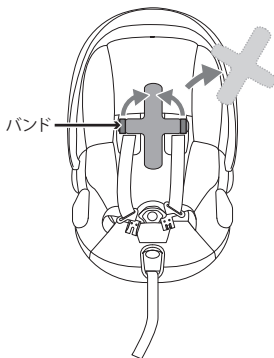
あらかじめ、ニューボーンハガーとヘッドレスト（ハーネスパッド）を取り外しておきます。

参照 P26～P27▷ニューボーンハガーの使いかた▷01～02

参照 P59～P60▷ヘッドレスト・ハーネスパッド▷01～03

02

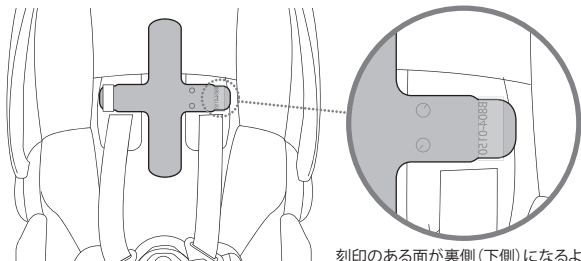
本体背もたれ部の十字形のプラスチックプレートは左右の黒いバンドに通されています。プラスチックプレート左右の先端をバンドから引き抜いて取り外します。



⚠注意

プラスチックプレートの向きに注意すること

十字形のプラスチックプレートを取り付けなおす際は、プレートの向きに注意してください。下図を参照して向きを合わせてください。



刻印のある面が裏側（下側）になるように取り付けます

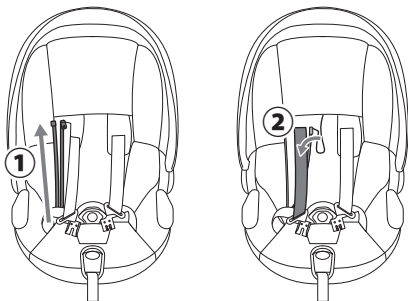
⚠注意

プラスチックプレートの下側のプレートは外さないこと

十字形のプラスチックプレートを取り付けてあるバンドが固定されている「DO NOT REMOVE」と書かれている黒いプレート（裏側は白）は取り外しできません。

03

①背もたれ部左右で、座面から上方向に留めてあるファスナーを開いて外します。②外した部分を、ハーネスの下側をくぐらせるようにして、ハーネスをシートカバーから外します。左右とも同じようにしてください。



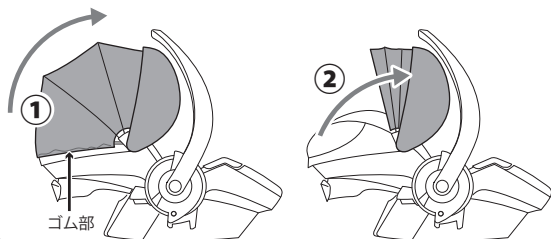
⚠注意

本体の衝撃吸収材をキズつけないように注意すること

シートカバーの取り外し、取り付けの際に、シェルに付属している EPS フォームをキズつけないよう慎重に作業してください。

04

キャンピーを開き、キャンピーの後ろ側でシェルに沿って留めてある①ゴム部を取り外し、②キャンピーを前側に外します。

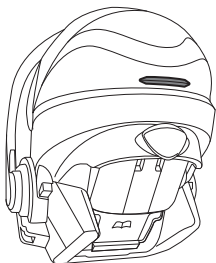


ポイント

キャンピー全体は、シェルから取り外しできません。ここでは、シェル後部の固定部からキャンピーの後部を外す作業を行います。

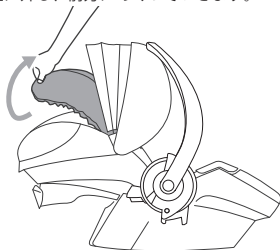
ポイント

キャノピーを戻す際は、シェル後部の凸部分にキャノピーのゴムを掛けて留めてください。



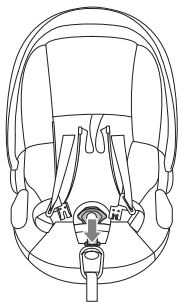
05

後部から前側に、シートカバーの縁を、EPS フォームをキズつけないように注意しながら、シェル (EPS フォーム) から慎重に外し、前方にめくっていきます。



06

股ベルトパッドは、シートカバーに固定されています。受けバックルを股ベルトパッドから抜き、シートカバーの取り出し穴から外します。

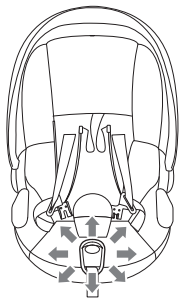


07

アジャスターベルトボタンの周囲には、シートカバーがきつく押し込まれていますので、外側に向かってシートカバーを引いて取り外してください。

シートカバーが外れたら、シートカバーの穴からアジャスターベルトを抜いてください。

最後に、シートカバーを、シェルから取り外します。



ポイント

シートカバーを取り付けなおす際に、先にアジャスターベルト、股ベルト（受けバックル）をシートカバーの取り出し穴から差し込むのを忘れないでください。

ハーネス（差込タンク）、股ベルト（受けバックル）は、取り外しできません。
キャノピーはシェルから完全に取り外すことはできません。

⚠危険

取り外したシートカバー、ヘッドレストは必ず取り付けなおすこと

シートカバー、ヘッドレストは本製品を構成する重要な安全部品です。シートカバー、ヘッドレストを必ず元通りに取り付けなおしてください。お子さまの月齢、体格、身長に応じてニューボーンハガーを取り付けなおしてください。

08

シートカバーの取り付けは逆の手順で行います。

EPS フォームを内側に押し込むようにして、たるみがないよう、しっかりとシートカバーを取り付けてください。操作はきつめですので、注意して作業してください。

以下のポイントに注意して操作してください。

ポイント

- ・アジャスターベルト、受けバックルをシートカバーの取り出し穴に差し込む
- ・シートカバーの縁をしっかりとシェルと EPS フォームの間に差し入れる
- ・アジャスターベルトボタンの周囲にシートカバーをしっかりと差し入れる
- ・股ベルト（受けバックル）を股ベルトカバーに通す
- ・十字形のプラスチックプレートは、シートカバーを取り付けた後で取り付ける
- ・ヘッドレストの袋部は十字形のプラスチックプレートの上側を先に差し込んでから、下側を差し込む
- ・ヘッドレストとハーネスパッドをつなぐ紐を表側に出す
- ・ハーネスにねじれがないようにする

お手入れの方法

・シートカバー

シートカバーには、お手入れ、洗濯方法の指示が書かれたタグがついています。その指示に従って、お手入れ、洗濯をしてください。

40℃以下の水温で弱水流に設定した洗濯機で洗濯が可能ですが、型崩れのおそれがありますので、脱水機能は使用せず、手絞りして平干ししてください。強く絞りますと型崩れするおそれがありますので、ご注意ください。

お手入れ後はしっかりと乾かしてからシェルに取り付けてください。

△注意

色移りするおそれがありますので、他の物と一緒に洗濯しないでください。

漂白剤は使用できません。蛍光剤、クレンザーなど研磨剤、シンナー、ベンジン、ガソリンなど有機溶剤は使用しないでください。

タンブル乾燥はできません。

アイロンは使用できません。

ドライクリーニングはできません。

脱水機は使用しないでください。強く絞らないでください。型崩れするおそれがあります。

洗剤が残らないよう、しっかりとすすいでください。

洗濯により、色落ち、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

・シェル・ハーネス・バックル・キャノピー・YOYO チャイルドシートアダプター

シェル、ハーネス、バックル、キャノピーの表面は、水を含ませて良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水で、同様にお手入れしてください。ただし、中性洗剤を使用した場合には、洗剤が残らないように水を含ませて良く絞った柔らかいタオルで洗剤をふき取るようにしてください。

受けバックルの中は、市販のエアダスターなどでゴミや食べかすなどを吹き飛ばすか、掃除機で吸い出すなどしてお手入れしてください。

ポイント

バックルにゴミや食べかすが附着していたり、受けバックルに食べかすやゴミ、砂が入っていたりすると、バックルが正常に機能しなくなるおそれがありますので、バックルのお手入れは日常的に行ってください。

⚠危険

バックルに異常を感じたら使用を中止すること

バックルが正常に機能しないと、衝撃を受けたり、お子さまが動いたりした場合に本製品からお子さまが飛び出したり、落下したりして、重大な事故につながるおそれがあります。

バックルに異常を感じたら、直ちに使用を中止して、本取扱説明書の巻末に記載されている弊社カスタマーサービスまで、ご連絡ください。

潤滑性のある物質を絶対に使用しないこと

バックルや接合部、可動部、プラスチックの部位などに潤滑油などの潤滑性のある物質を使用すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

⚠注意

本製品の変質や異常を防ぐため、お手入れにあたって以下の注意事項を守ること

- ①本製品に直接水をかけないこと
- ②ウェットシート等には、樹脂（プラスチック）に影響をおよぼす成分が含まれているものがあり、変色したり破損したりするおそれがあるので使用しないこと
- ③サビや腐食、変質を防ぐため、本製品を濡れたまま放置しないこと
- ④原液の中性洗剤、シンナーなどの有機溶剤、研磨剤の入った洗剤を使用しないこと
- ⑤薄めた中性洗剤を使用した場合、洗剤分を完全にふき取ること
- ⑥取扱説明書ホルダーに入った取扱説明書を濡らさないように注意すること

・ヘッドレスト（ハーネスパッド）・ニューボーンハガー

△注意

ヘッドレストとハーネスパッドを分離しないこと

ハーネスパッドは、ヘッドレストに紐で縫い付けられています。安全のため、ハーネスパッドとヘッドレストをつなぐ紐を切るなどして分離させないでください。

ニューボーンハガーには、お手入れ、洗濯方法の指示が書かれたタグがついています。その指示に従って、お手入れ、洗濯をしてください。ヘッドレスト（ハーネスパッド）のお手入れ、洗濯方法は、ニューボーンハガーと同様です。

30℃以下の水温で弱水流に設定した洗濯機で洗濯が可能ですが、型崩れのおそれがありますので、脱水機能は使用せず、手絞りして平干ししてください。強く絞りますと型崩れするおそれがありますので、ご注意ください。

お手入れ後はしっかりと乾かしてから取り付けてください。

△注意

ヘッドレスト（ハーネスパッド）・ニューボーンハガーは、使用中にお子さまの肌や口に触れる可能性があります。洗剤等が残っているとお子さまに影響を与えるおそれがありますので、洗濯後は、洗剤等が残らないようにしっかりとすすいでください。

脱水機は使用しないでください。強く絞らないでください。型崩れするおそれがあります。

漂白剤は使用できません。蛍光剤、クレンザーなど研磨剤、シンナー、ベンジン、ガソリンなど有機溶剤は使用しないでください。

タンブル乾燥はできません。

アイロンは使用できません。

ドライクリーニングはできません。

強く絞らないでください。型崩れするおそれがあります。

平干ししてください。

洗剤が残らないよう、しっかりとすすいでください。

洗濯により、色落ち、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

保管のしかた

長期間で使用にならない場合、本製品を自動車の座席から取り外し、自動車の外に出した上、寒暖差の少ない、湿気の少ない室内で保管してください。

取り外した本製品を、そのまま自動車内に放置しないでください。事故や衝撃を受けた際に本製品が移動し、乗員にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

保管時には、同梱の専用収納袋に入れるか、布のカバーをするなどして、ほこりや汚れが付着しないようにしてください。

二次使用について

本製品は、ご使用になられる方の安全のため、再利用（中古品）を禁止させていただいております。

中古品は、過去に生じた事故による衝撃、使用状況、保管状況等が不明なため、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがありますので、使用しないでください。

本製品の使用が終了し、不要になった際には、本製品は廃棄するようにしてください。

廃棄のしかた

本製品は、一般ごみとしては廃棄できません。本製品を廃棄される際には、お住まいの各自治体の指示に従い、正しく処分、廃棄してください。

廃棄の際には、お手数ですが、再利用による事故を防ぐため、「再利用不可廃棄品」と明示した上で廃棄いただきますよう、お願い申し上げます。

株式会社ストック カスタマーサービス
Email : info.jp@stokke.com

www.babyzen.com

 babyzenstrollers

 Babyzen

BABYZEN

2355 route des Pinchinats
13100 Aix-en-Provence - France
contact@babyzen.com



後ろ向き取り付け



適応身長：40-75 cm



適応体重：13 kgまで



適応月齢：0-12ヵ月



UN regulation no. R129
i-Size

YOYO car seat by BeSafe ne peut être utilisé qu'avec YOYO²/YOYO+ avec un adaptateur approprié.
YOYO car seat by BeSafe can only be used with YOYO²/YOYO+ with proper adaptor.